

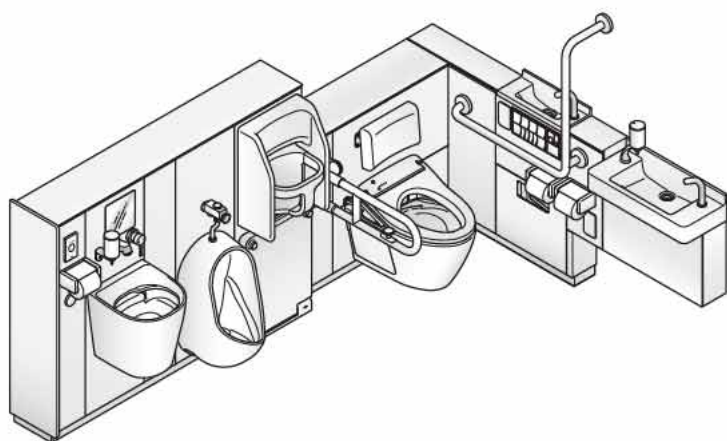
TOTO

施工説明書

コンパクト多機能トイレパック

・P82(説明書品番 GSAS594-2 (19枚目))
→バキュームブレーカーのイラストを修正します。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
本書は右勝手の場合を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。



※ イラストは右勝手の場合です。

情報編

3～30

- | | |
|-------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取り付け前の確認 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 14 |

手順編

31～107

- ・イラストはコンパクト多機能トイレパック(壁掛タイプ)ウォシュレット アプリコット(別売品)付です。
- ・大便器は床置タイプもあります。

工事店様へ

- ☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入し、必ずお客様にお渡しください。
また、使用方法も説明してください。
- 手渡しできない場合は、工事完了後目立つ場所に置いてください。

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取り付け前の確認 ▶ 6

1	全体構成	6
2	配管、電源・コンセントの準備	8
3	全体寸法	9
4	必要工具・部材	12
5	取付下地の確認、固定材の準備	13

3. 部品の確認 ▶ 14

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



警告

誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告	分解禁止	修理技術者以外の人 は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	水場使用禁止	浴室など水がかかったり湿気の多い場所 には設置しない 火災や感電の原因となります。商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	アース接続	アース(D種接地)工事が されていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	分解禁止	この説明書に記載された項目 以外は分解・改造しない 破損してやけど・けがをしたり、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生 の原因 となります。
	濡れ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差し しない 感電の原因となります。		
	禁止	指定する電源(交流100V)以外では 使用しない 火災の原因となります。	雷が発生しているときは、電源プラグに 触れない 感電の原因となります。	
		ガタついているコンセントは 使わない 火災や感電の原因となります。	通電中は電源線、および電源端子台には 絶対に触れない 感電の原因となります。	
		電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま 使用しない 火災や感電の原因となります。	洗浄ボタンや電源プラグ・配線部および端子台・スイッチやコンセント部などの電気製品に水をかけたり、ぬれた手でさわら ない 感電の原因となります。	
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付 けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	
		コンセントや配線器具の定格を 超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。	湯水を逆に配管 しない 水を出そうとした際に湯が出てやけどの原因となります。	
			指定 以外 の商品と組み合わせて 施工しない 商品の破損、落下による、けがの原因となります。	
	必ず守る	工事完了後、商品の傾きやがたつきが ないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生 の原因 となります。	電源プラグを抜くときは、必ず プラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	
電源プラグは根元まで 確実に差し込む 火災や感電の原因となります。		電気関連部品の保守点検を行う場合は、必ず 充電源(分電盤ブレーカーもしくは、コンセントを抜く)を切って作業を行う 感電の原因となります。		

 警告	 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	壁への設置は下地に合った固定を確実にを行う 固定強度不足のため、けがをするおそれがあります。
		アンカーやプラグなどの下穴は指定径のドリルで所定の深さであけ、ダストポンプを使用して、必ず穴の中の切粉を除去する 固定強度不足のため、けがをするおそれがあります。	取付部には所定の下地を設ける 強度不足のため、けがのおそれがあります。
		商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する。 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。 水漏れにより、感電、または、建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。 <電気温水器なし仕様の場合> 必ず同梱のサーモスタットを取り付ける 熱湯をシングルレバーに直接接続しない 水栓から熱湯が出て、やけどの原因になります。

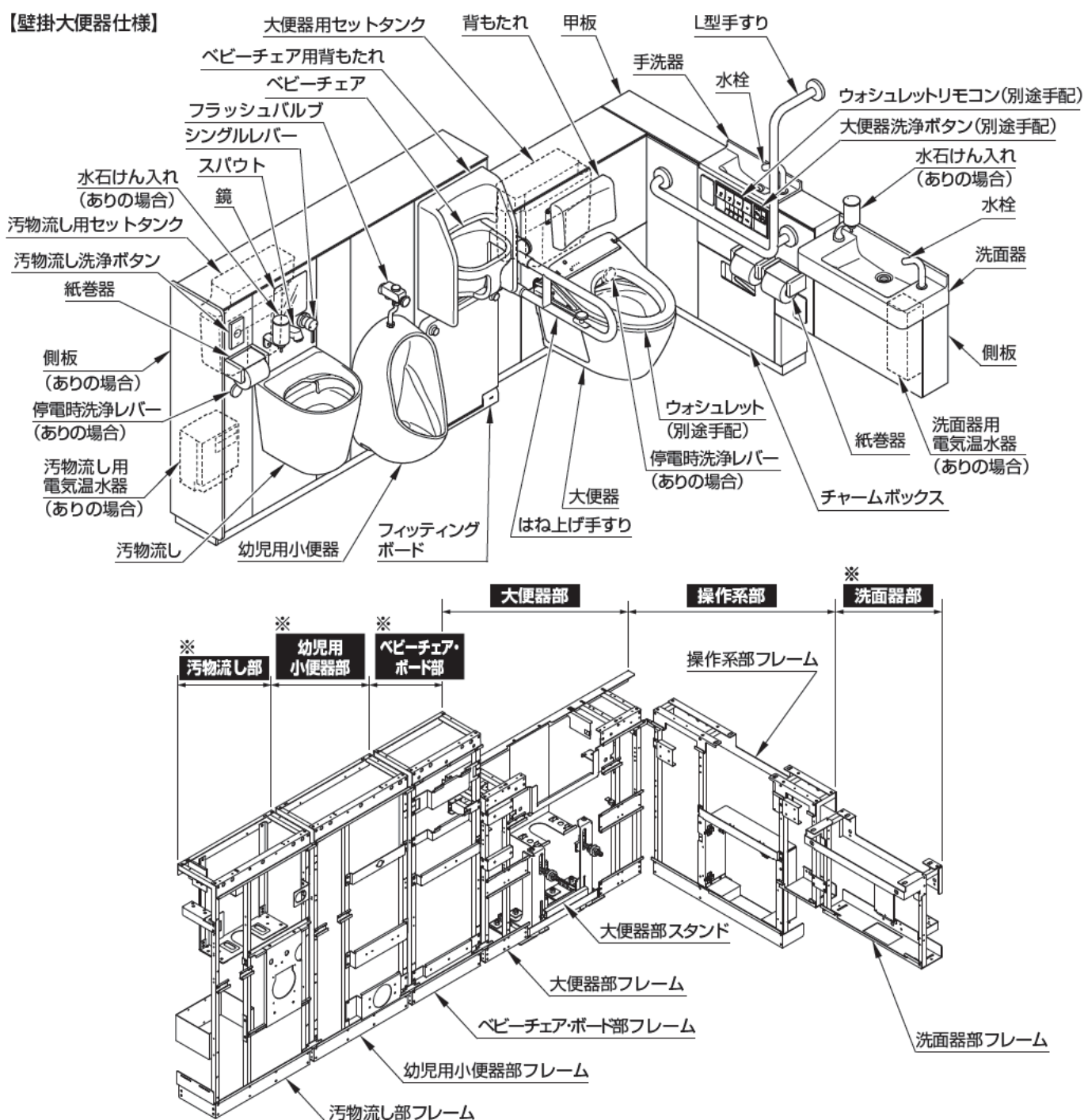
 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	陶器取付用のねじをきつく締めすぎない 陶器が割れ、けがをするおそれがあります。	
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	甲板や各器具の上に乗ったり、重いものを乗せない 故障やけがの原因になります。	
	排水パッキンの取り付けにはグリスを使用しない 劣化して水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	
	パッキンを傷つけたり異常な変形をさせない 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。		
 注意	給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防のため保温処理（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	
	設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	フレーム、大便器、汚物流し（汚物流しありの場合）の持ち運びや取り付けは必ず2人以上で行う 腰を痛めたり、けがをするおそれがあります。	
	 必ず守る	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	ジャバラを無理に曲げないように設置する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
		給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。
		手すりにガタツキやゆるみがないか確認する 手すりが外れ、けがをするおそれがあります。	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。
		作業時手袋、防じんマスクなど適切な防護具を使用する 予期せずけがをするおそれがあります。	各器具の補修を行う場合は、水漏れ防止のため必ず元バルブを締めて作業を行う 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

2. 取り付け前の確認

- ① 本商品および、本商品に取り付ける器具の商品図・事前施工情報を必ず確認し、取付位置や取付下地など施工条件を事前に確認する。
※特に、床・壁の傾き、倒れがないことや、配管の立ち上げ位置を確認してください。
- ② 不具合があった場合は責任者の方と調整し、不具合を解消後に取り付ける。
- ③ 本商品に取り付ける各器具に同梱の施工説明書も参照。
※本書は右勝手の場合を基準に説明しております。
- ④ 陶器表面に傷などないことを確認する。
※陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりクリーナー」で軽くこすって除去してください。

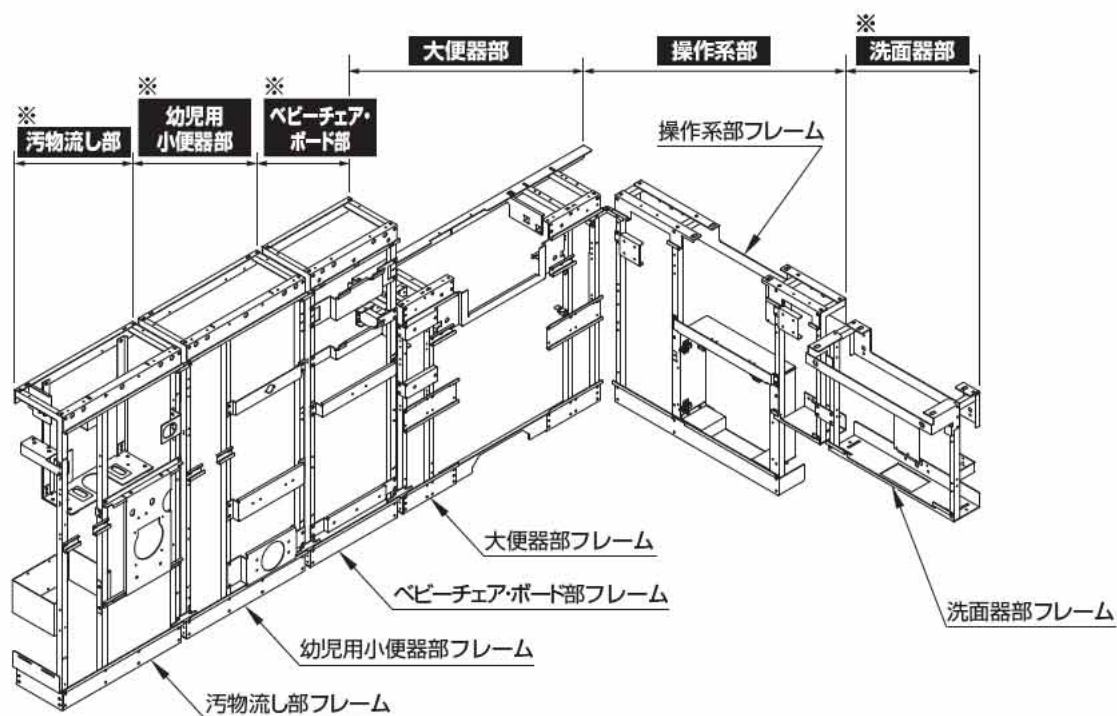
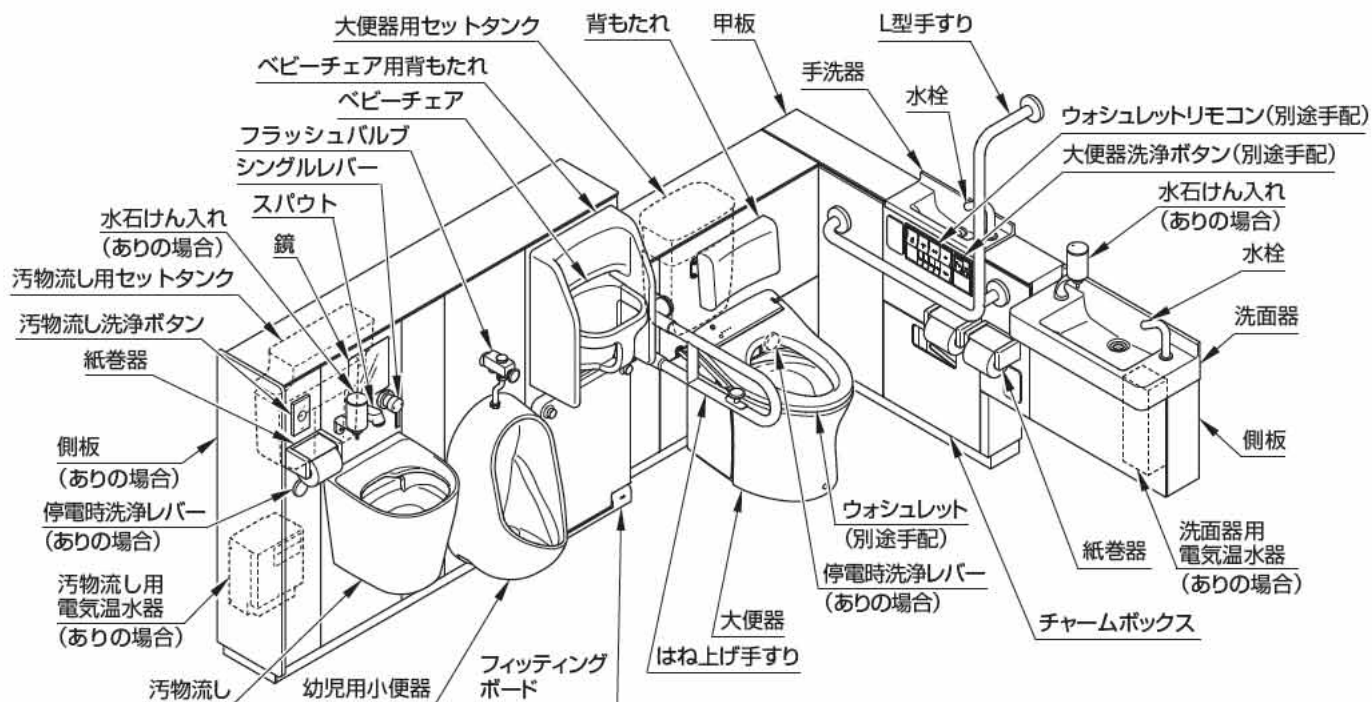
1 全体構成

※図はウォシュレット PS・エコリモコン付の場合です。



※印は仕様によりセットされません。

【床置大便器仕様】



※印は仕様によりセットされません。

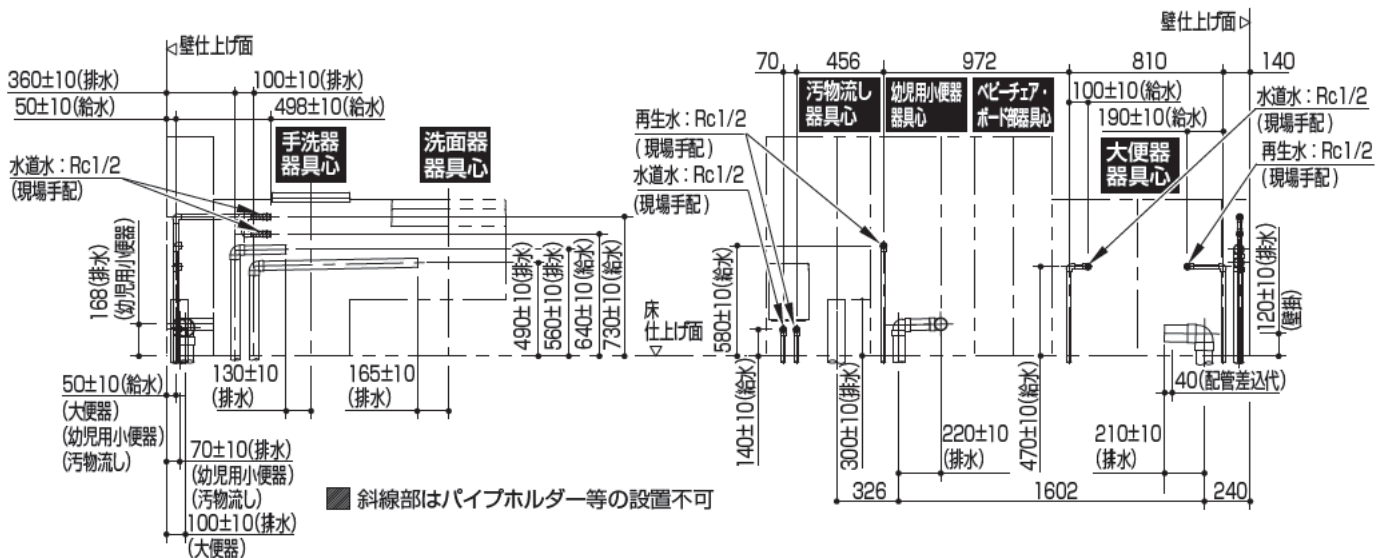
2 配管、電源・コンセントの準備

- ・正しい位置に設置されていることを商品図・事前施工情報を参照して確認する
- ・電気工事は関連する安全法規に従って有資格者が行う

給排水配管、電源・コンセントを所定の位置に取り出し、設置します。

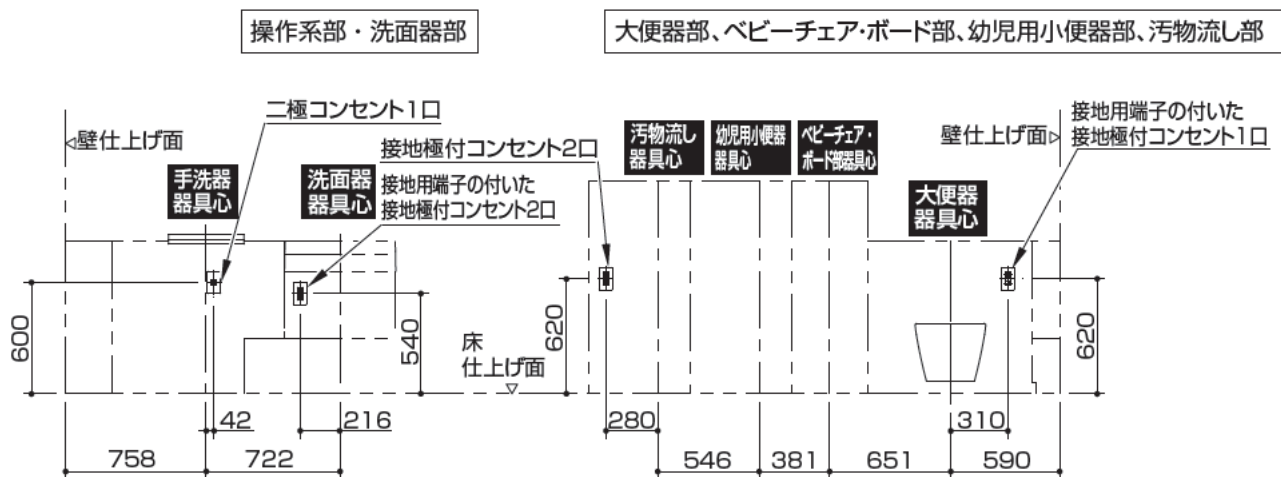
右勝手、ベビーチェア・ボード・幼児用小便器・汚物流し(電気温水器あり)・洗面器・手洗器あり、再生水仕様の場合

配管立ち上げ位置



右勝手、ベビーチェア・ボード・幼児用小便器・汚物流し(電気温水器あり)・洗面器(電気温水器あり)・手洗器仕様の場合

コンセント位置図

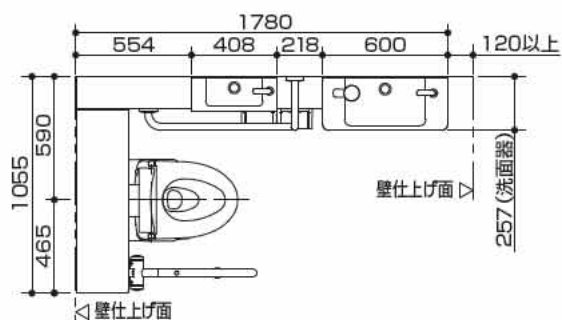


3 全体寸法

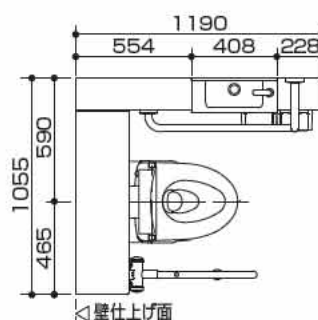
※パターンにより異なりますので詳細は商品図でご確認ください。

※図は右勝手の場合です。 ※便座は仕様により形状が異なります。
※壁掛大便器、床置大便器共通です。 ※()内は側板なしの場合

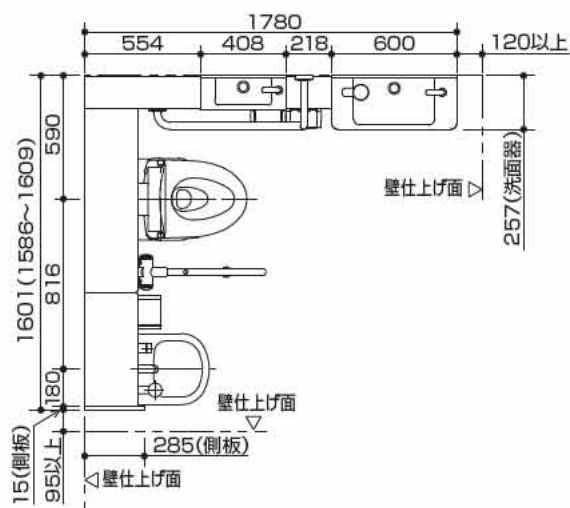
【大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



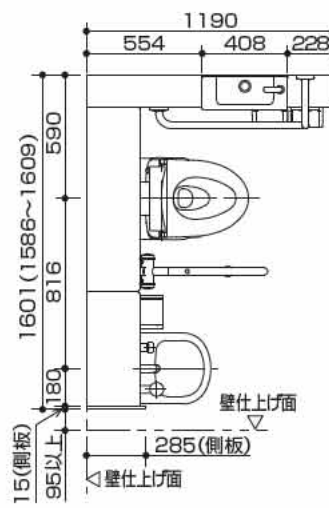
【洗面器部なしの場合】



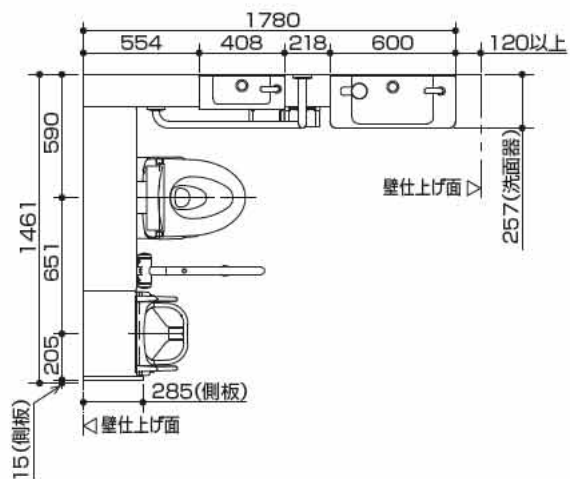
【汚物流し部、大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



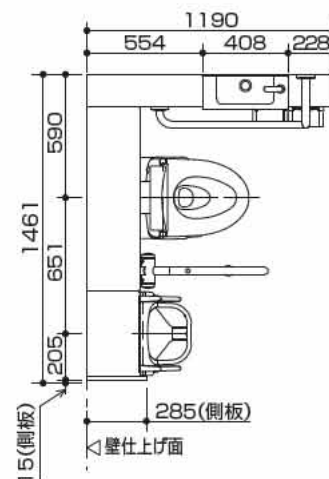
【洗面器部なしの場合】



【ベビーチェア・ボード部、大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



【洗面器部なしの場合】



Technical drawing of the TOTO T-110 toilet, showing side and top views with dimensions in millimeters.

Side View Dimensions:

- Total height: 1601 (1586~1609)
- Height from floor to toilet seat: 816
- Height from floor to toilet bowl: 590
- Height from floor to toilet base: 180
- Minimum floor thickness: 105以上
- Height from floor to toilet base (side view): 285 (側板)

Top View Dimensions:

- Total width: 1190
- Distance from left wall to toilet center: 554
- Distance from toilet center to right wall: 408
- Distance from toilet center to right wall (side view): 228

Labels:

- 壁仕上げ面 (Wall finish surface)
- 壁仕上げ面 (Wall finish surface)

Technical drawing of the front view of the '2007 (1992~2015)' model of the '5 (側板)' (Side Panel). The drawing shows a side profile of a unit with a toilet and a sink. Dimensions are provided in millimeters: total width 1190, toilet width 554, sink width 408, and a small side panel width 228. Vertical dimensions on the left indicate a total height of 2007 (1992~2015) and segment heights of 590, 651, 381, 370, and 5 (側板). A bottom dimension of 285 (側板) is also shown. The text '△壁仕上面' (Wall finish top surface) is at the bottom left.

Technical drawing of the TOTO T-1000 toilet unit, showing side and top views with dimensions.

Dimensions:

- Overall width: 1190
- Distance from wall to center of bowl: 554
- Distance from center of bowl to center of pedestal: 408
- Distance from center of pedestal to right edge: 228
- Overall height: 590
- Distance from floor to top of pedestal: 651
- Distance from floor to top of bowl: 381
- Distance from floor to top of pedestal (alternative): 370
- Distance from floor to top of pedestal (alternative): 285 (側板)

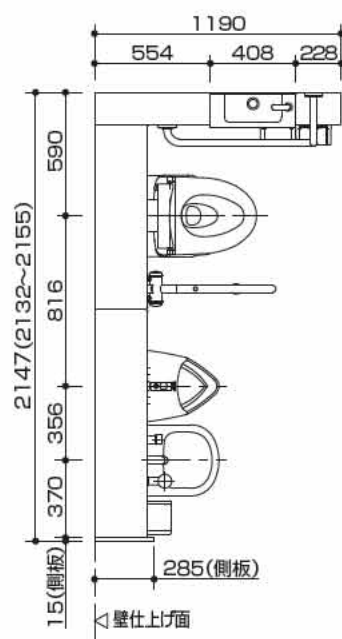
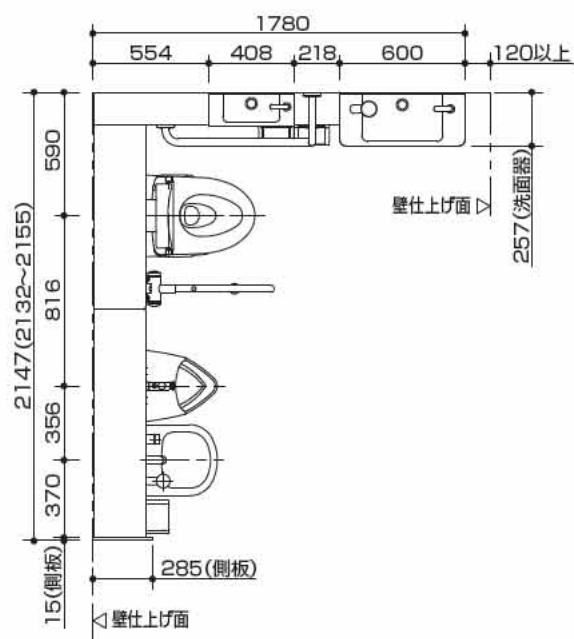
Labels:

- 2007(1992~2015)
- 5(側板)
- 壁仕上げ面

※()内は側板なしの場合

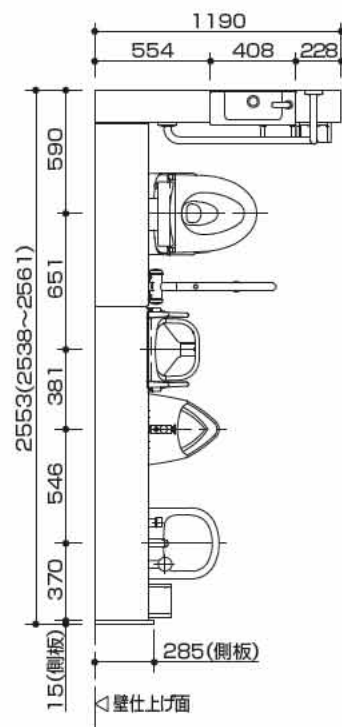
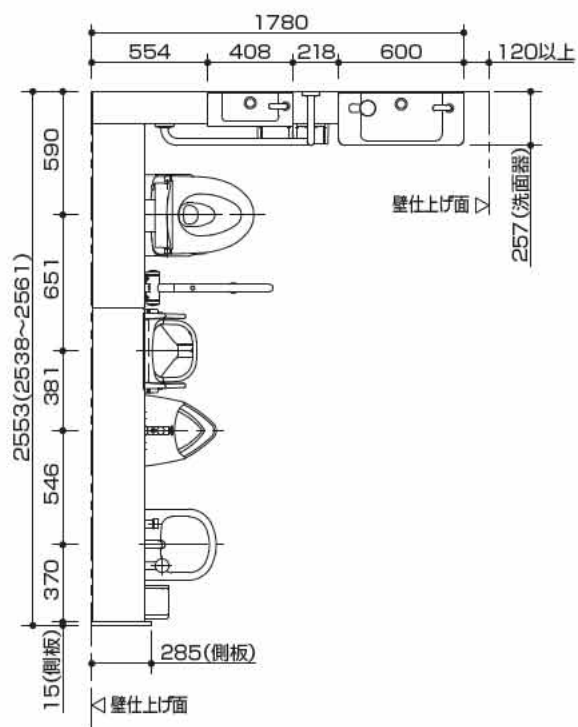
【幼児用小便器部、汚物流し部、
大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】

【洗面器部なしの場合】



【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部、
大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】

【洗面器部なしの場合】



4 必要工具・部材

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材を用意してください。



振動ドリル



電動ドリル



コンクリート用ドリル:φ6、φ8、φ12.5
※フレーム、大便器、壁掛大便器
スタンド手すり固定用
木工用ドリル:φ3、φ4
※フレーム、紙巻器、
汚物流し用水石けん入れ



ダストポンプ



ソケットレンチ
メガネレンチ



板ラチェットレンチ
(サイズ:17mm、
長さ150mm以下)



六角棒レンチ
サイズ:対辺(mm)
2.5、3



電動ドライバー
ビットサイズ:＃1、＃2、＃3



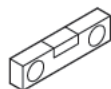
250mm以上の
ロングビット



金やすり



モンキーレンチ



水準器
(磁石付・150mm以下のものと
200mm以上のもの)



金切りばさみ
切断能力…ステンレス板0.8mm



シリコン系シール剤



プラスドライバー
＃1(チャームボックス扉ステー取付用)
＃2(65mm・200mm)



ゴム系接着剤



脱脂用アルコール



ウェス



えんぴつ



ジグソー
刃は新建材用または木工用超硬刃



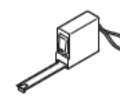
レーザー墨出器



下げ振り



モーターレンチ



コンベックス



シールテープ



パイプカッター



ペンチ

5 取付下地の確認、固定材の準備

取付下地などに不具合があった場合は責任者の方と調整し、解消後に取り付けてください。

■床固定

フレームの取り付け

床下地	部材名称	床固定材	
コンクリート (仕上げ材の厚み 10mm以内)	大便器部フレーム 汚物流し部フレーム 操作系部フレーム 大便器 ベビーチェア・ボード部フレーム 幼児用小便器部フレーム	樹脂プラグ (下穴φ8 深さ:仕上げ厚+55mm以上)	各部 フレームに 同梱

壁掛大便器スタンドの場合

床下地	部材名称	床固定材	
床コンクリート 仕様	圧縮強度 20.6MPa以上	壁掛大便器 スタンド	アンカーボルト (下穴φ12.5 深さ:仕上げ厚+55~60mm)
	鉄筋のかぶり厚 50mm以上		
	養生期間 28日以上 (アンカー施工時)		
	ベースプレートの周囲 40mmの 範囲は床コンクリートの開口や欠損禁止		
配管スペース の奥行寸法	250mm以上 (仕上げ厚を含む)		
床仕上げ厚	60mm以内 (標準便器高さの場合)		

■壁固定

壁下地	部材名称	壁固定材	
コンクリート (仕上げ材の厚み 10mm以内)	大便器部フレーム 汚物流し部フレーム 操作系部フレーム 洗面器部フレーム ベビーチェア・ボード部フレーム 幼児用小便器部フレーム	樹脂プラグ (下穴φ8 深さ:仕上げ厚+55mm以上)	各部 フレームに 同梱
	L型手すり	アンカーボルト M6×85 (下穴φ6 深さ:仕上げ厚+85mm以上)	手すりに 同梱
鋼製下地+耐水合板 t12以上	大便器部フレーム 汚物流し部フレーム 操作系部フレーム 洗面器部フレーム ベビーチェア・ボード部フレーム 幼児用小便器部フレーム	トラスタッピンねじ φ5×50	各部 フレームに 同梱
	L型手すり	六角コーチねじ φ6×70	手すりに 同梱



2

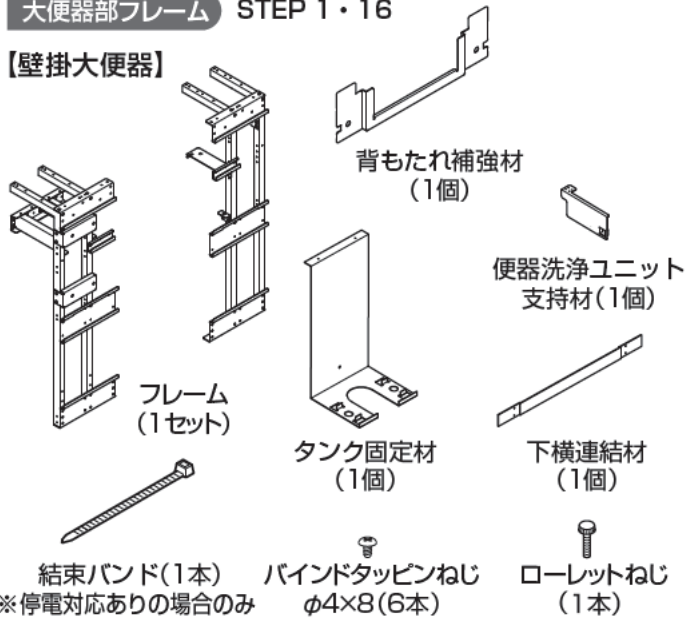
取り付け前の確認

3.部品の確認

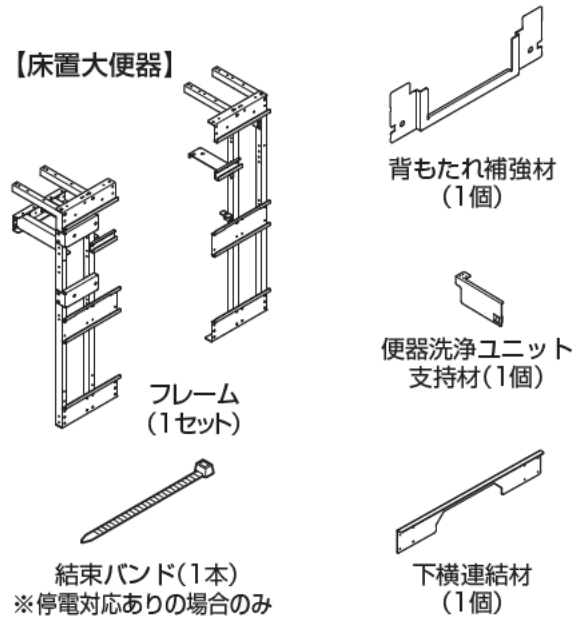
大便器部フレーム

大便器部フレーム STEP 1・16

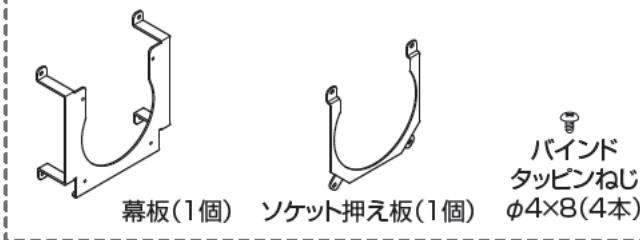
【壁掛大便器】



【床置大便器】



【スタンド部品セット】STEP 0



壁ハンガー STEP 1



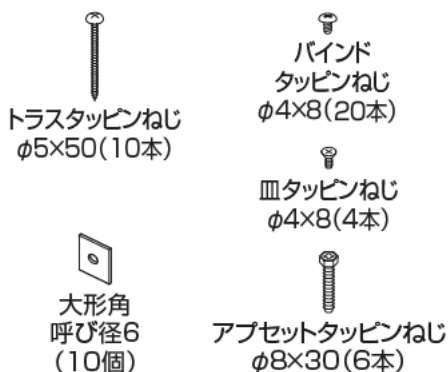
説明書セット



大便器部フレーム部部品セット

フレーム壁床固定セット STEP 0・1

【共通】



【耐水合板下地壁固定用】



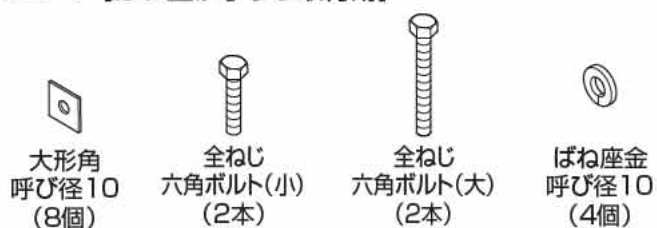
【コンクリート壁・床固定用】



大便器部フレーム(つづき)

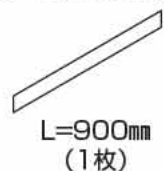
大便器部フレーム部品セット (つづき)

STEP 1 【はね上げ手すり取付用】



幅木 STEP 6

【壁掛大便器用】



【床置大便器用】



両面テープ

【幅木用 ・底目地用】



結束バンド(リビートタイプ)

STEP 21



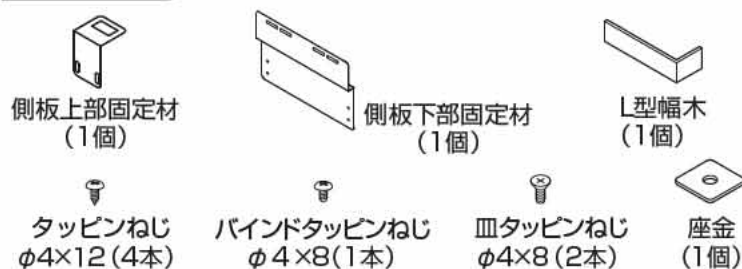
ライナーセット



側板固定セット

STEP 1・2・6

※大便器部のみの場合



底目地受材 STEP 19



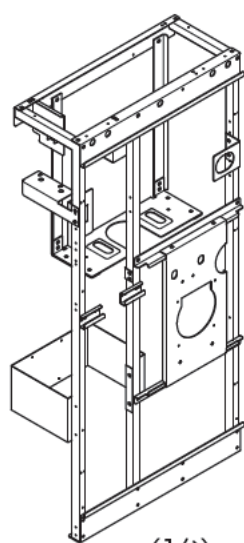
連結材セット STEP 1



MEMO

汚物流し部フレーム

汚物流し部フレーム STEP 1



(1台)

STEP 16

※汚物流し部フレームに
テープ止め

【停電対応ありの場合】



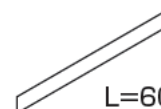
結束バンド (1本)

フィラー固定材 STEP 2

フィラー固定材
(2個)フィラー押え材
(2個)

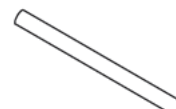
バインドタッピンねじ
φ4×8 (2本)

幅木 STEP 8

L=600mm
(1枚)

バキュームブレーカー接続セット

STEP 15

連結ホース
(1本)ホースクランプ
(1個)

汚物流し部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 1

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50 (4本)大形角
呼び径6
(4個)アプセットタッピンねじ
φ8×30 (6本)

【耐水合板下地壁固定用】

ねじ受け材
(6個)

【コンクリート壁・床固定用】

樹脂プラグ
(4本)

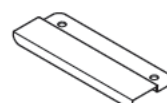
膨張水処理部材セット STEP 16

排水エルボ
(1個)

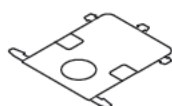
(2個)

ホースセット
L=970mm
(1本)

底目地受材 STEP 19

底目地受材
(2個)バインド
タッピンねじ
φ4×8 (4本)

カバー(B) STEP 15



(1個)

※電気温水器ありの場合のみ
タンク段付き部に取り付け

ソケット押え板 STEP 3



(1個)

バインド
タッピンねじ
φ4×8 (4本)

便器洗浄ユニット用ねじセット STEP 16

バインドタッピンねじ
φ4×8 (1本)バインドタッピンねじ
φ4×16 (1本)

電気温水器ねじセット STEP 15

バインドタッピンねじ
φ4×8 (2本)

※電気温水器ありの場合のみ

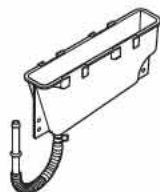
汚物流し部フレーム(つづき)

汚物流し部フレーム部部品 (つづき)

水受けトレイセット STEP 15



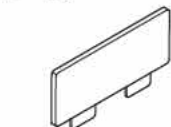
水受けトレイ支持材A・B
(各1個)



水受けトレイ
(1個)



ロッドホルダー
(1個)

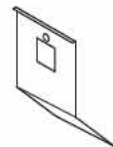


水受けトレイガイド
(1個)



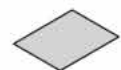
バインドタッピンねじ
φ4×8 (4本)

水切板 STEP 15



水切板 (1個)

使い方ラベル STEP 22

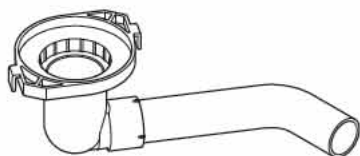


(1枚)

※全ての作業終了後に
張り付けを行います。
大切に保管してください。

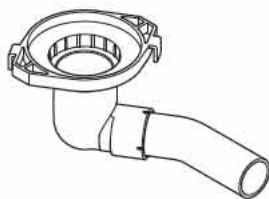
タンク接続管(汚物流し用) STEP 15

【点検口が左の場合】



(1個)

【点検口が右の場合】



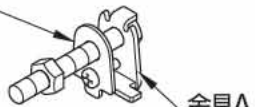
(1個)

陶器固定部材セット STEP 14



ブラケット
(1個)

金具B



陶器固定ボルト
(2本)

金具A

【組付けねじセット】



アブセットタッピンねじ
φ6×30(2本)



平ワッシャー
(4個)



全ねじ六角ボルト(大)
M8×60(2本)



六角ナット
(2個)

タンク固定板セット STEP 15



タンク固定板
(1個)

【調節ねじセット】



ローレットねじ
M6×16(4本)



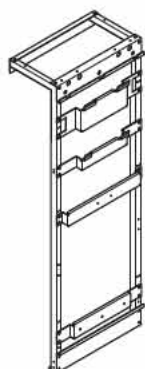
ローレットねじ
M6×30(4本)



角座金
(2個)

ベビーチェア・ボード部フレーム

ベビーチェア・ボード部フレーム STEP 1・2



(1台)

※ フィラー固定材 STEP 2



フィラー固定材
(2個)



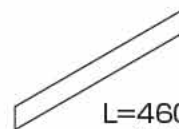
フィラー押え材
(2個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8 (2本)

※印は構成により入らない場合があります。

幅木 STEP 8



L=460mm
(1枚)

ベビーチェア・ボード部フレーム(つづき)

ベビーチェア・ボード部フレーム部部品

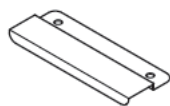
フレーム壁床固定セット STEP 1

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50(3本)大形角
呼び径6
(3個)アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)ねじ受け材
(4個)樹脂プラグ
(3本)

【耐水合板下地壁固定用】 【コンクリート壁・床固定用】

底目地受材 STEP 19

底目地受材
(2個)バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

ベビーチェアねじセット STEP 12

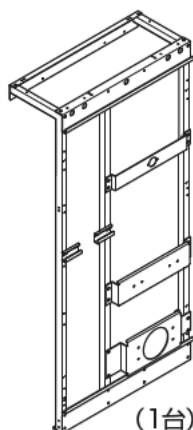
バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

フィッティングボードねじセット STEP 12

アプセットタッピンねじ
φ6×30(3本)

幼児用小便器部フレーム

幼児用小便器部フレーム STEP 1・2



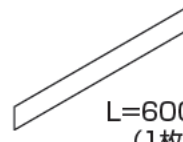
(1台)

※ フィラー固定材 STEP 2

フィラー固定材
(2個)フィラー押え材
(2個)バインド
タッピンねじ
φ4×8(2本)

※印は構成により入らない場合があります。

幅木 STEP 8

L=600mm
(1枚)

幼児用小便器部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 1

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50(4本)大形角
呼び径6
(4個)アプセット
タッピンねじ
φ8×30(6本)

【耐水合板下地壁固定用】

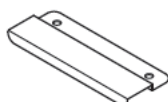
ねじ受け材
(6個)

【コンクリート壁・床固定用】

樹脂プラグ
(4本)

底目地受材

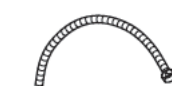
STEP 19

底目地受材
(2個)バインド
タッピンねじ
φ4×8(4本)

幼児用小便器組付け STEP 4・13

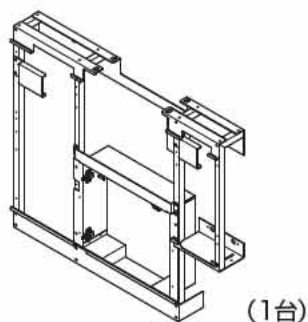


壁フランジ(1個)

※取付部材、説明書など同梱
※同梱のトラスタッピンねじ
φ6×50(4本)は使用しませんアプセットタッピンねじ
φ6×30(8本)バックハンガー
(2個)幼児用小便器
フラッシュバルブ
(1個)止水栓
(1個)フレキ管
(1本)

操作系部フレーム

操作系部フレーム STEP 1・2



(1台)

操作系部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 1

【共通】



トラスタッピンねじ
φ5×50(6本)



大形角
呼び径6
(6個)



アブセットタッピンねじ
φ8×30(10本)

【耐水合板下地壁固定用】

【コンクリート壁・床固定用】



ねじ受け材
(10個)



樹脂プラグ
(6本)

ライナーセット



t=0.5(5枚)

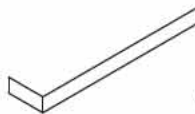


t=1.0
(10枚)



t=3.0
(20枚)

幅木 STEP 8



L型幅木
(1枚)



L=500mm
(1枚)

チャームボックス STEP 11



(1個)

止水栓固定材セット STEP 20

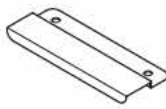


止水栓固定材
(1個)



なべ小ねじ
M4×50(2本)

底目地受材 STEP 19



底目地受材
(2個)

バインド
タッピンねじ
φ4×8(4本)

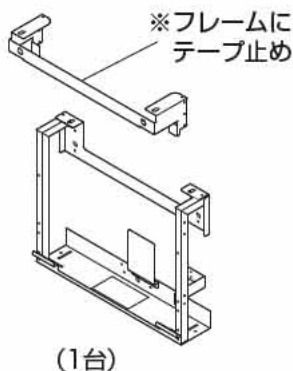
面ファスナー STEP 20



面ファスナー
透明と黒 各2個

洗面器部フレーム

洗面器部フレーム STEP 1



(1台)

側面パネル固定材 STEP 5



(1個)

※フレームにテープ止め

側板固定セット STEP1・2



上部固定材
(1個)



下部固定材
(1個)



ローレットねじ
(1本)



バインド
タッピンねじ
φ4×12(3本)

3

部品の確認

洗面器部フレーム(つづき)

洗面器部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 1

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50(5本)大形角
呼び径6
(5個)アプセットタッピンねじ
φ8×30(6本)

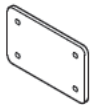
【耐水合板下地壁固定用】

ねじ受け材
(6個)

【コンクリート壁・床固定用】

樹脂プラグ
(5本)

連結材セット STEP 1

連結材
(1個)バインドタッピンねじ
φ4×8 (4本)

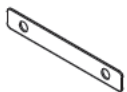
ライナーセット

t=0.5
(5枚)t=1.0
(10枚)t=3.0
(20枚)

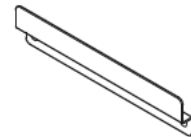
固定ねじセット STEP 1

ローレットねじ
(2本)バインド
タッピンねじ
φ4×8(8本)

止水栓固定材セット STEP 10

止水栓固定材
(1個)なべ小ねじ
M4×50(2本)

フレームハンガー STEP 1

フレームハンガー (1個)
※フレームにテープ止め

面ファスナー STEP10

面ファスナー
透明と黒 各2個

電気温水器固定材取付ねじ STEP10

【電気温水器ありの場合】

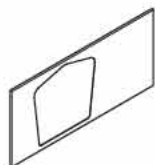
バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

大便器部前板

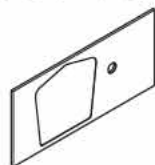
※取り付け位置は STEP 5 を参照してください。

壁掛大便器部前板 STEP 5・6

【停電対応の場合】



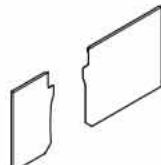
前板(大便器裏)
(1枚)



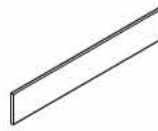
前板(大便器裏)
(1枚)

床置大便器部前板 STEP 5・6・21

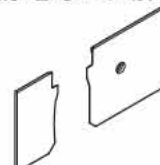
【停電対応の場合】



前板(大便器裏)
(1セット)



ふさぎ板
(1枚)

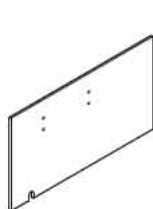


前板(大便器裏)
(1セット)

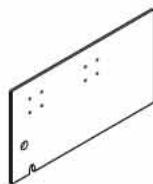
大便器部前板セット(壁掛大便器・床置大便器共通)

STEP 5・11・21

【パウチ・しびん洗浄水栓付
背もたれの場合】



前板(大便器上)
(1枚)



前板(手すり裏)
(1枚)

STEP 21



U字プッシュ
(1個)



バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)



Lアングル
(背もたれ固定材)
(1個)

背もたれ取付セット ※背もたれを選択の場合 STEP 21



六角ボルト
M6×25(4本)



平座金M6
(4個)

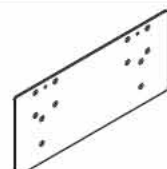


ばね座金M6
(4個)

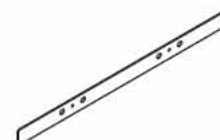


六角袋ナットM6
(4個)

背もたれ裏当て材 STEP 21



背もたれ裏当て材
(1枚)



背もたれ補強ハンガー
(1個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8(2本)

パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ取付セット ※パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれを選択の場合 STEP 21



六角ボルト
M6×30(8本)



平座金M6
(8個)



ばね座金M6
(8個)



座付ナットM6
(8個)



ホース貫通部キャップ(1個)
※パウチ・しびん洗浄水栓付
背もたれの給水ホースの前板
貫通部用

底目地材 STEP 19



大便器部 (920mm)
(1個)

側板(大便器部用) STEP 2

【大便器部のみの場合】



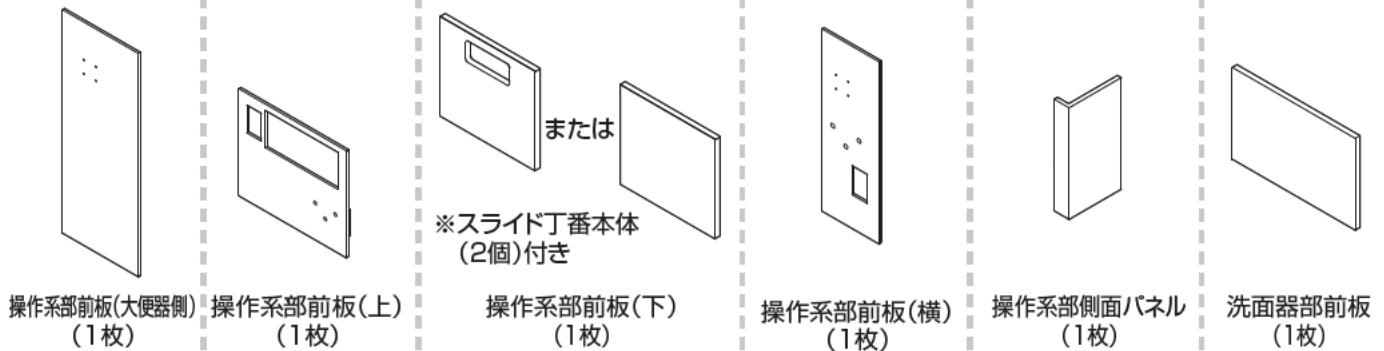
(1枚)

操作系部・洗面器部前板

操作系部・洗面器部前板セット

STEP 5・10・11・20

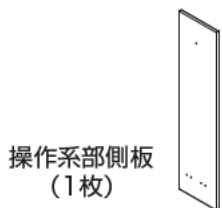
※取り付け位置は STEP 5 を参照してください。



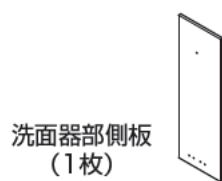
側板

STEP 2・5

【洗面器部なしの場合】

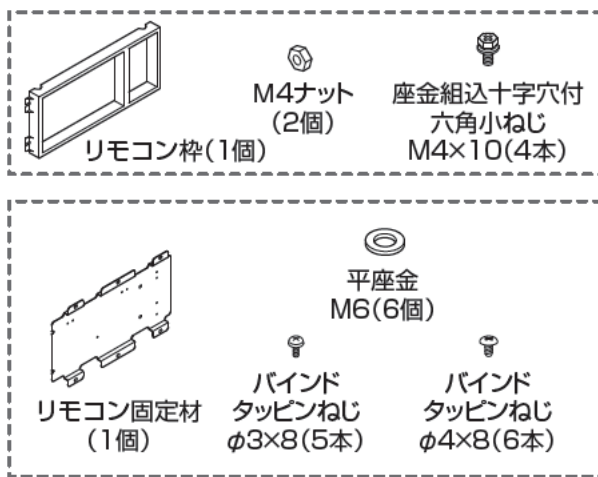


【洗面器部ありの場合】



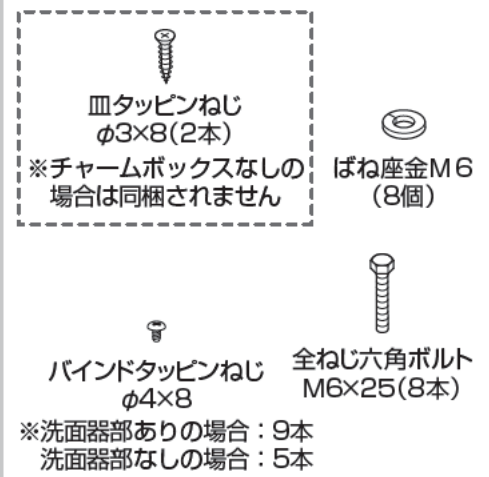
エコリモコン枠

STEP 21



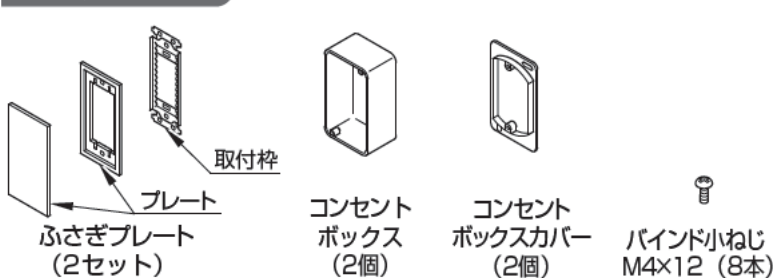
ねじセット

STEP 5・11・21



ふさぎプレートセット

STEP 11・21



底目地材

STEP 19



下部固定材

STEP 5

【洗面器ありの場合】



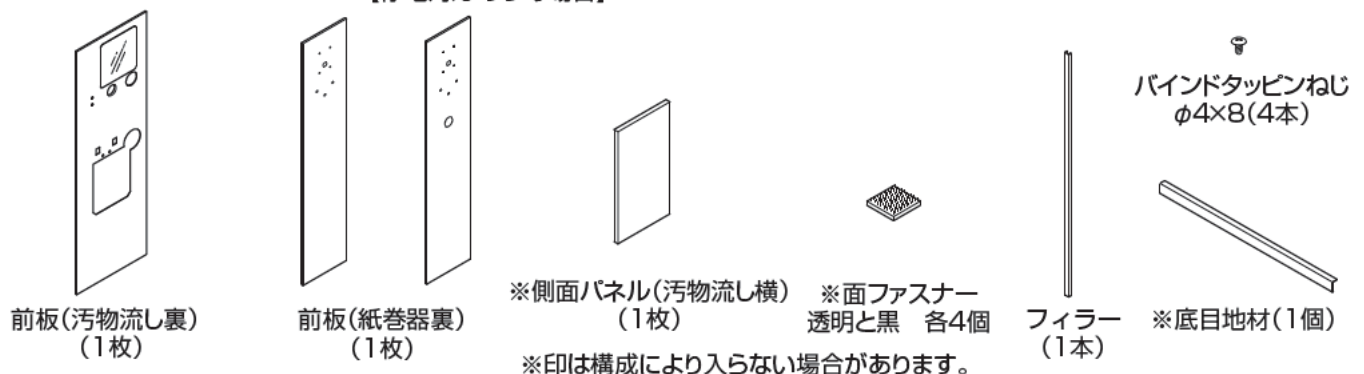
汚物流し部前板

汚物流し前板セット

STEP 5・9・11・17・19

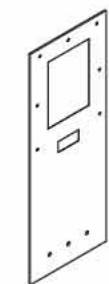
※取り付け位置は STEP 5 を参照してください。

【停電対応ありの場合】



ベビーチェア・ボード部前板

ベビーチェア・ボード部前板セット STEP 5・9・11・19 ※取り付け位置はSTEP 5を参照してください。



前板(1枚)



側面パネル(1枚)



面ファスナー
透明と黒 各4個



※フィラー(1本)



底目地材(1個)

※印は構成により入らない場合があります。

幼児用小便器部前板

幼児用小便器部前板セット STEP 5・9・11・19 ※取り付け位置はSTEP 5を参照してください。



前板
(1枚)



前板(点検口)
(1枚)



※側面パネル
(1枚)



※面ファスナー
透明と黒 各4個



※フィラー(1本)



※底目地材(1個)

※印は構成により入らない場合があります。

底目地材

底目地材 STEP 19



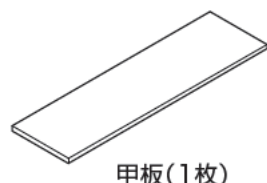
底目地材(1個)

①幼児用小便器部 ②ベビーチェア・ボード部 ③汚物流し部フレームの構成パターンによって、底目地材の長さは以下のようになります。

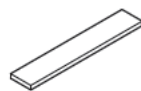
フレームの組み合わせ	底目地の長さ(mm)
大便器部 + ①または②または③	548
大便器部 + ①～③のうち2器具	1094
大便器部 + ① + ② + ③	548+1094

大便器部甲板

STEP 19



甲板(1枚)

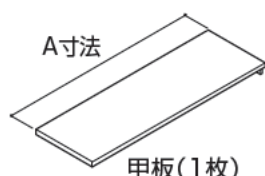


化粧シート(1枚)

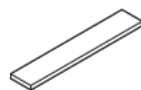
面ファスナー
透明と黒
各6個

甲板(ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部)

STEP 19



甲板(1枚)



化粧シート(1枚)

面ファスナー
透明と黒

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部甲板の構成パターンによって、甲板長さや面ファスナー数は以下になります。

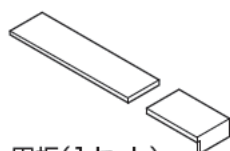
フレームの組み合わせ				A寸法(mm)	面ファスナー(個)
汚物流し部	—	—	側板あり	546	4
汚物流し部	—	—	—	584	
—	幼児用小便器部	—	側板あり	546	
—	幼児用小便器部	—	—	584	
—	—	ベビーチェア・ボード部	側板あり	406	8
汚物流し部	—	ベビーチェア・ボード部	側板あり	952	
汚物流し部	—	ベビーチェア・ボード部	—	990	
—	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	側板あり	952	
—	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	—	990	
汚物流し部	幼児用小便器部	—	側板あり	1092	
汚物流し部	幼児用小便器部	—	—	1130	12
汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	側板あり	1498	
汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	—	1536	

操作系部甲板

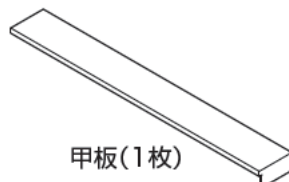
STEP 19

【手洗器ありの場合】

【手洗器なしの場合】



甲板(1セット)



甲板(1枚)

面ファスナー
透明と黒
各8個

側板(ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部)

STEP 1・2・5・8



側板(1枚)



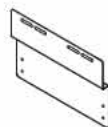
タッピンねじ
φ4×12(6本)



側板上部固定材(1個)



バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)



側板下部固定材(1個)



皿タッピンねじ
φ4×8(2本)



L型幅木(1枚)



大形角呼び径6
(1個)

大便器

大便器セット STEP 6・21

【壁掛大便器】



大便器本体(1個)



サイドカバー(右)
(1枚)



サイドカバー(左)
(1枚)
※説明書など同梱



固定片
(1個)



皿木ねじ(前)
φ5.8×56(1本)

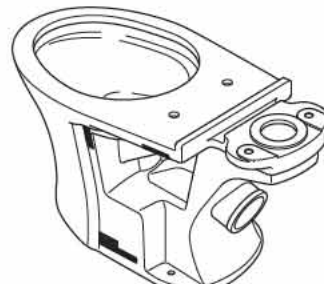


ワッシャー
(固定片用)(2個)



木ねじ(後)
φ6.2×63(2本)

【床置大便器】



大便器本体(1個)
※説明書など同梱



サイドカバー(右)
(1枚)



サイドカバー(左)
(1枚)



化粧キャップ
(前)(1個)



なべタッピンねじ(固定片用)
φ6×50(2本)



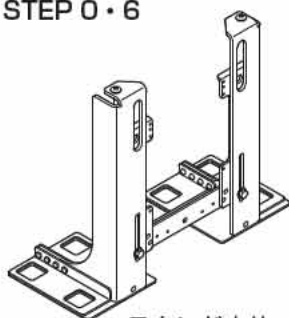
化粧キャップ
(後)(2個)



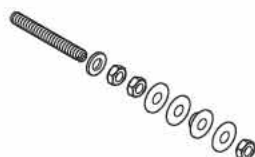
ワッシャー(後部固定用)
(2個)

スタンド(壁掛大便器の場合のみ)

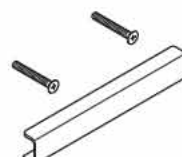
STEP 0・6



スタンド本体
(1個)



便器取付ボルトセット
(2セット)



下部受け材セット
(1セット)



アンカーセット
(6セット)

3

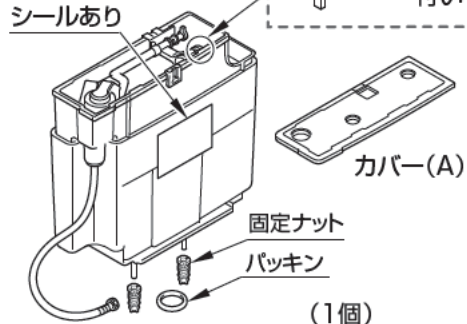
部品の確認

セットタンク(大便器用)

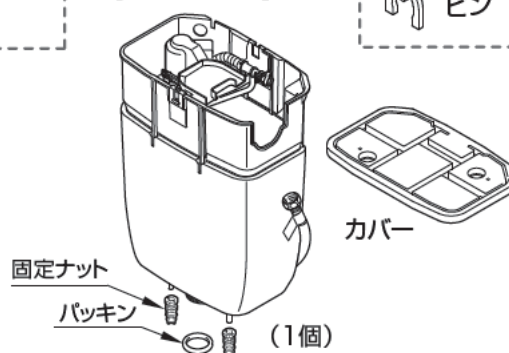
STEP 7・16・22

【壁掛大便器】

シールあり

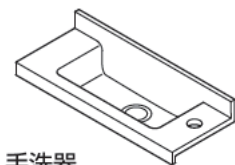


【床置大便器】



手洗器

STEP 20

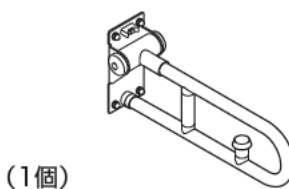


ねじセット



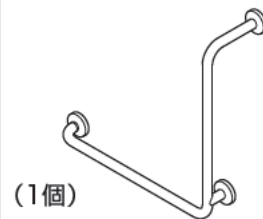
手すり

はね上げ手すり STEP 21



※取付部材、説明書など同梱

L型手すり STEP 21

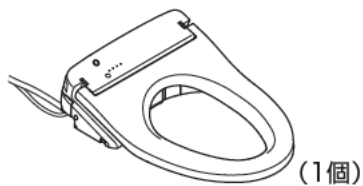


※取付部材、説明書など同梱

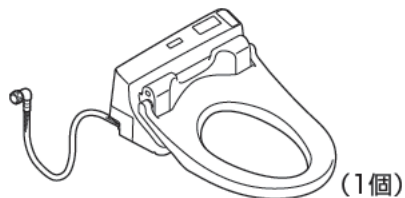
ウォシュレット(別売品)

ウォシュレット本体 STEP 21

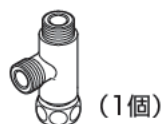
【ウォシュレット アプリコットの場合】



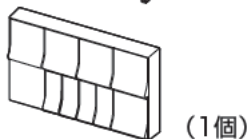
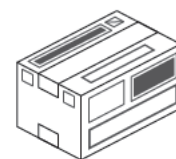
【ウォシュレット PSの場合】



分岐金具



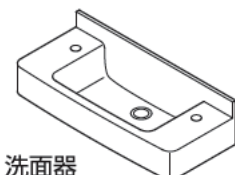
リモコン部品

リモコン便器洗浄ユニット
(別梱包)

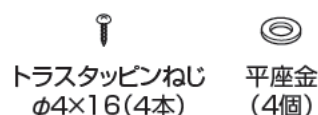
※取付部材、説明書など同梱
▶ウォシュレットの施工説明書参照

洗面器(洗面器ありの場合のみ)

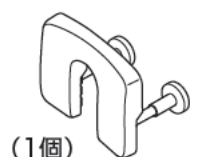
STEP 10



ねじセット

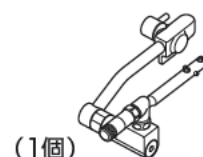


背もたれ STEP 21



※説明書など同梱

パウチ・しびん洗浄水栓 STEP 21



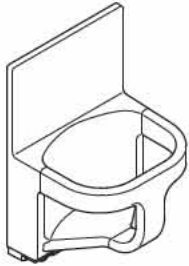
※説明書など同梱

パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれ

ベビーチェア・ボード部ありの場合

ベビーチェア・ボード

ベビーチェア STEP 12



ベビーチェア
(1個)

ベビーチェア用背もたれ STEP 12

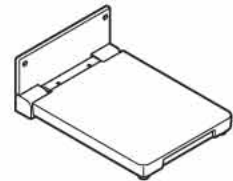


ベビーチェア用背もたれ
(1個)

【組付けねじセット】



フィッティングボード STEP 12

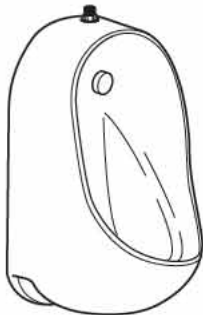


フィッティングボード(1個)
※取付部材、説明書など同梱
※同梱のトラスタッピンねじ
φ5×35(3本)は使用しません。

幼児用小便器部ありの場合

幼児用小便器

幼児用小便器組付け STEP 13

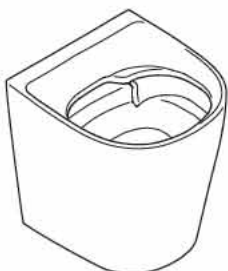


幼児用小便器本体(1個)
※説明書など同梱

汚物流し部ありの場合

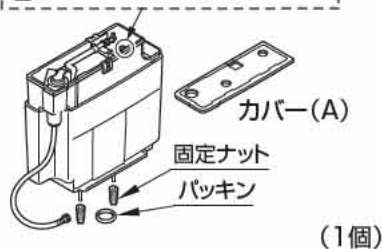
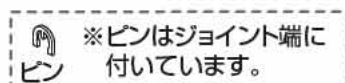
汚物流し

汚物流し STEP 14



汚物流し本体
(1個)

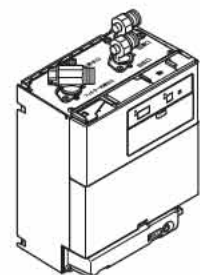
セットタンク(汚物流し用) STEP 14・15・16・22



※カバー(B)は汚物流し部フレーム部
部品セットに同梱

電気温水器(汚物流し用) STEP 15

【汚物流し・電気温水器ありの場合】

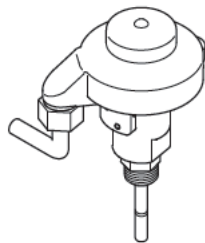


※取付部材、説明書など同梱

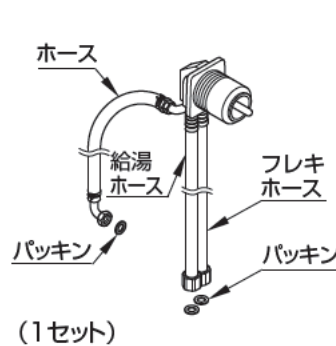
汚物流し部ありの場合（つづき）

壁付シングル水栓

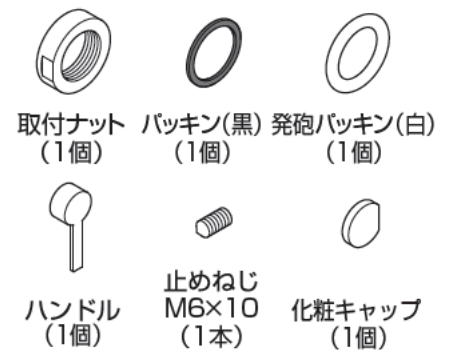
バキュームブレーカー STEP 15

バキュームブレーカー
(1個)

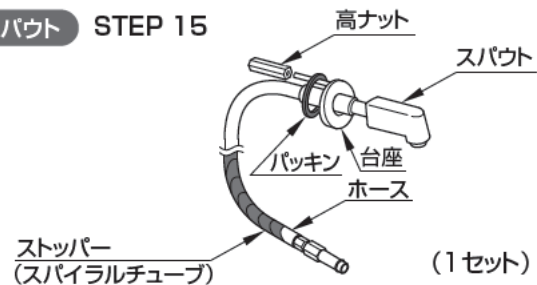
シングルレバー本体部 STEP 15・22



(1セット)



水栓スバウト STEP 15



(1セット)

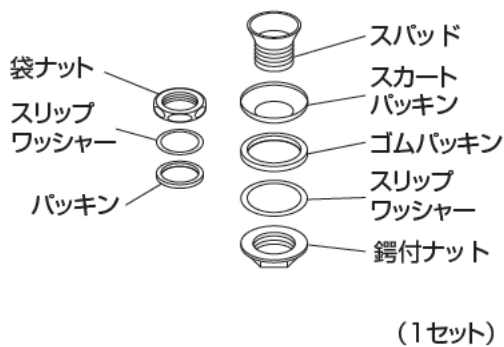
詰めあわせ箱

※壁掛大便器と床置大便器の場合で
部材内容が異なりますので確認してください。

【壁掛大便器の場合】

タンク接続管
STEP 7タンク接続管
(1個)

スパッド STEP 6・7



(1セット)

止水栓・継手

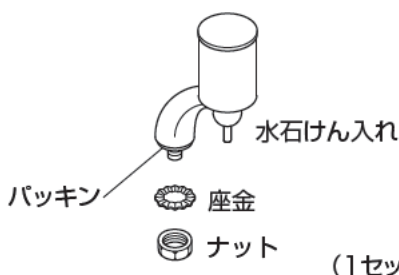
STEP 4・22

※タイプによって組み合わせが異なります。
STEP 4のページを参照ください。



水石けん入れ(洗面器用) STEP 10

※水石けん入れありの場合



(1セット)

水石けん入れ(汚物流し用) STEP 18

※水石けん入れありの場合



(2本)

取付座
(1個)水石けん入れ
(1個)

詰めあわせ箱(つづき)

排水金具セット ×2 ※洗面器なし・手洗器なしの場合はそれぞれ1セット減となります。

STEP 10・20

【排水金具セットソケット】



【壁排水ソケット】



【トラップ(上)】



【トラップ(下)】



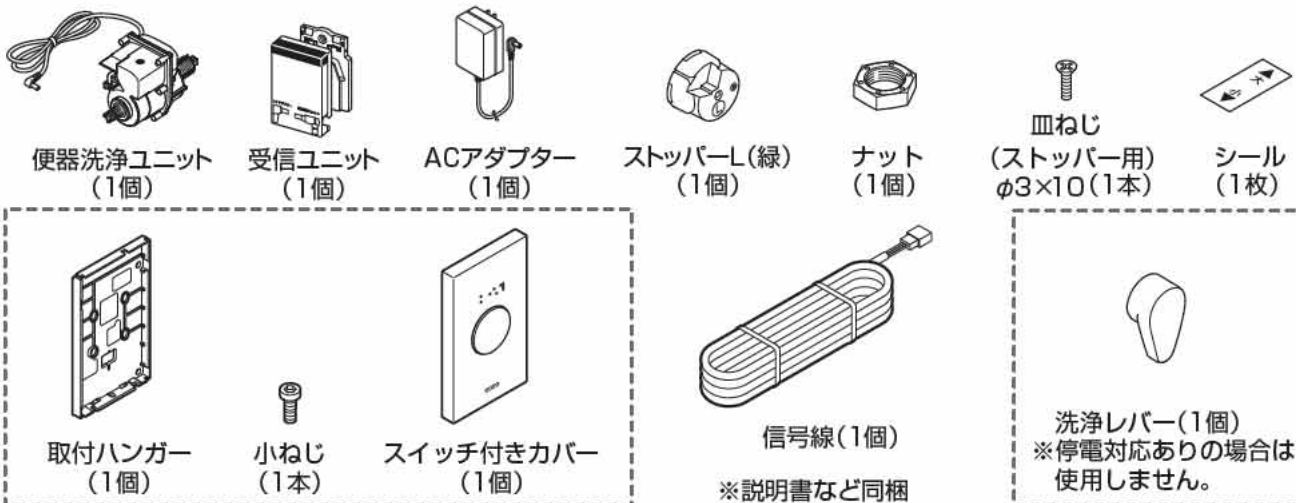
【排水アダプター】



【汚物流しありの場合】

リモコン便器洗浄ユニット ※同梱の木ねじ(25mm×4本)は使用しません

STEP 16・17



紙巻器 ※汚物流しありの場合は3セット
STEP 18 なしの場合は2セット



停電時洗浄レバー ※停電対応の場合のみ

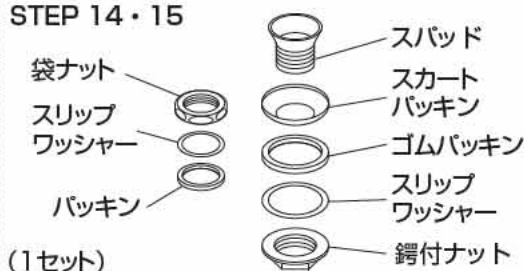
STEP 5・16



スパッド/フレキホース

※汚物流しありの場合

STEP 14・15



STEP 4



3

部品の確認

詰めあわせ箱(つづき)

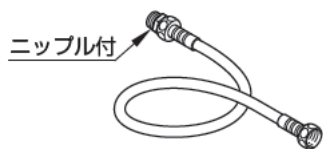
自動水栓×2

STEP 10・20

※洗面器もしくは手洗器なしの場合は1セット、洗面器および手洗器なしの場合は同梱されません。



自動水栓本体 (1個)



フレキシホース (1本)



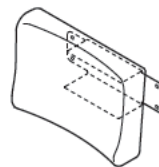
止水栓(機能部付)
(1個)

※取付部材、説明書など同梱

背もたれ

STEP 21

【背もたれを選択の場合】



(1個)

※説明書など同梱

ニップル×2

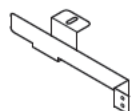
STEP 10・20



(2個)

連結材ABセット

STEP 1



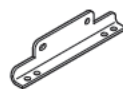
連結材A
(1個)



連結材B
(1個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8 (5本)



連結材B
(2個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8 (6本)

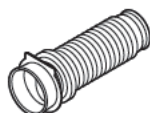
※汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部の構成パターンによって、連結材セットの組み合わせは以下のようになります。

フレームの組み合わせ			連結材セット		
			汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部
汚物流し部	—	—	AB	—	—
—	幼児用小便器部	—	—	AB	—
汚物流し部	幼児用小便器部	—	BB	AB	—
—	—	ベビーチェア・ボード部	—	—	AB
汚物流し部	—	ベビーチェア・ボード部	BB	—	AB
—	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	—	BB	AB
汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	BB	BB	AB

排水継手

【壁掛大便器の場合】STEP 0

※説明書など同梱



排水継手
(1個)



排水パッキン
(1個)



ホースバンド
(1個)

【床置大便器の場合】STEP 6



排水継手
(1個)

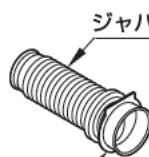


ホースバンド
(2個)

※説明書など同梱

【汚物流しありの場合】

STEP 3



排水ソケット

ジャバラ部

排水継手
(1個)



ホースバンド
(1個)

STEP 14

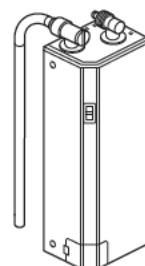


排水パッキン (1個)
※説明書など同梱

電気温水器(洗面器用)

STEP 10

※電気温水器ありの場合



電気温水器本体
(1個)

※取付部材、説明書など同梱

手順編

STEP0.壁掛大便器スタンド▶32	STEP11.前板(取り付け) ▶70
STEP1.フレーム ▶35	STEP12.ベビーチェア・ ボード部 ▶73
STEP2.フィラー固定材・ 側板 (側板がある場合) ▶45	STEP13.幼児用小便器 ▶75
STEP3.汚物流し用 排水継手 ▶48	STEP14.汚物流し ▶77
STEP4.止水栓 ▶49	STEP15.汚物流し用 セットタンク ▶80
STEP5.側面パネル・ 前板(準備) ▶53	STEP16.便器洗浄ユニット ▶86
STEP6.大便器 ▶57	STEP17.タッチスイッチ ▶89
STEP7.大便器用セットタンク ▶62	STEP18.器具類 ▶90
STEP8.幅木 ▶64	STEP19.甲板 ▶91
STEP9.フィラー ▶65	STEP20.手洗器 ▶95
STEP10.洗面器 ▶66	STEP21.大便器周辺器具類 ▶98
	STEP22.試運転・確認 ▶102

マーク表示について



手締めで

電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴

φ3

下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



カット

カットしてください。



脱脂

脱脂用アルコールで
脱脂してください。



250mm以上の
ロングビット

ロングビットの電動ドライバーを
使用してください。



けがき



けがき

けがきをしてください。



水平確認

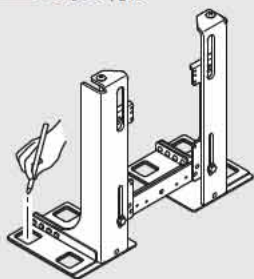


垂直確認

水準器で水平・垂直確認
してください。

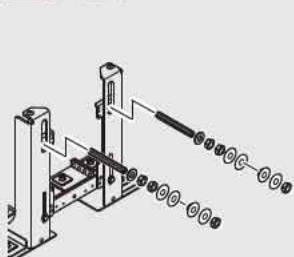
STEP0.壁掛大便器スタンド

1 壁掛大便器スタンドの取り付け



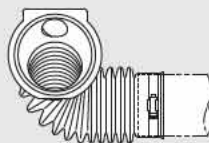
▶P.32

2 便器取付ボルトの仮固定



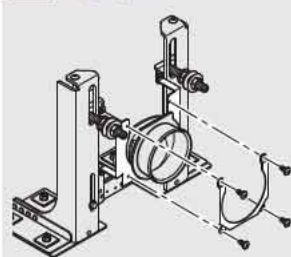
▶P.33

3 単独排水継手の設置



▶P.34

4 幕板・ソケット押え板の取り付け

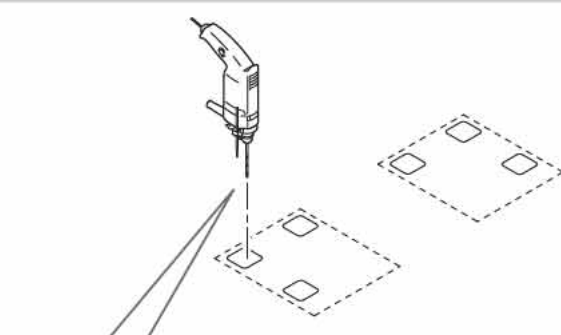
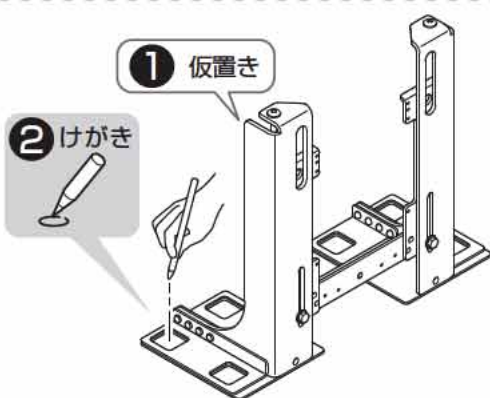
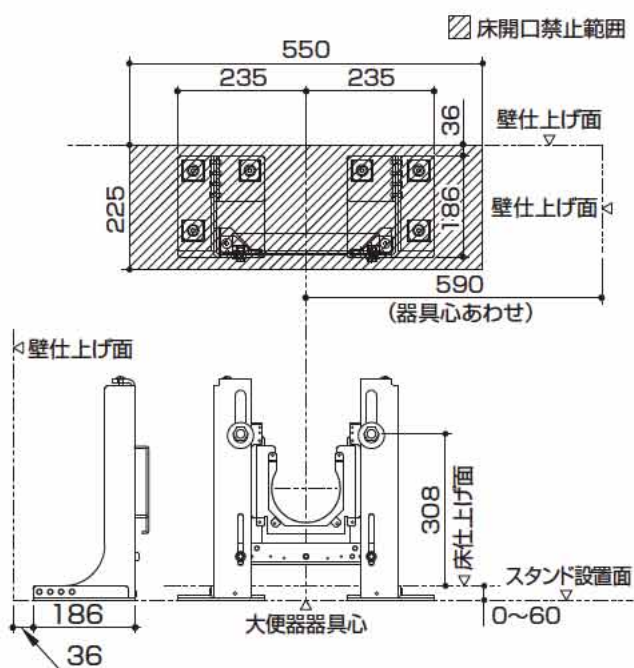


▶P.34

壁掛大便器スタンドのアンカー位置は事前施工情報を参考ください。

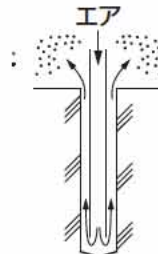
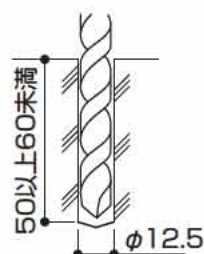
1 壁掛大便器スタンドの取り付け

スタンドの設置寸法



③ ドリル径:φ12.5
下穴深さ:50mm以上
60mm未満

下穴の中の切粉をダスト
ポンプなどで完全に除去



警告



禁止

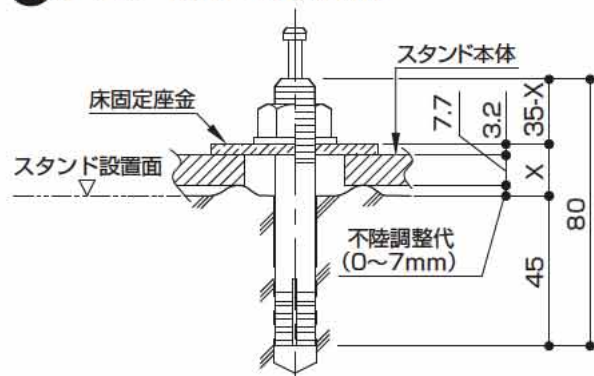
- ・指定以外の径のドリルを用いたり、下穴深さが不足の状態では施工しない
強度不足による、スタンドの転倒や落下の原因となります。
- ・アンカー部分のベースプレートが浮いた状態で固定しない
アンカーの必要強度が得られません。ベースプレート接地面に不陸がある場合は、床コンクリートをレベル調整するか、スペーサー(現場手配)を用いて調節してください。



必ず守る

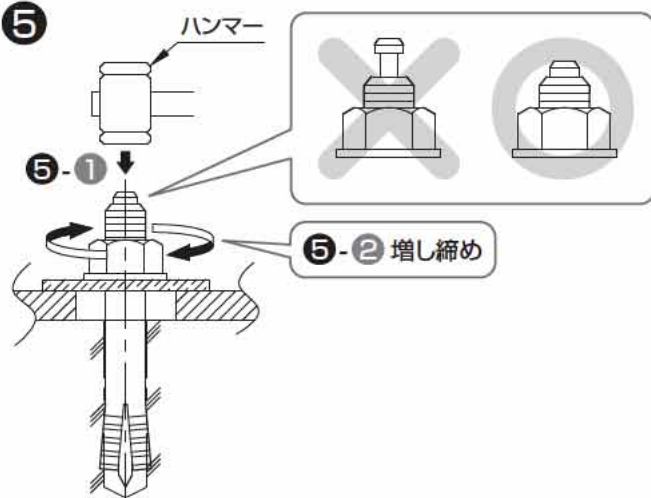
アンカーは穴あけ後、ダストポンプを使用して必ず穴の中の切粉を除去してから打ち込む
所定の強度を発揮できません。

4 アンカー(M12)の取り付け

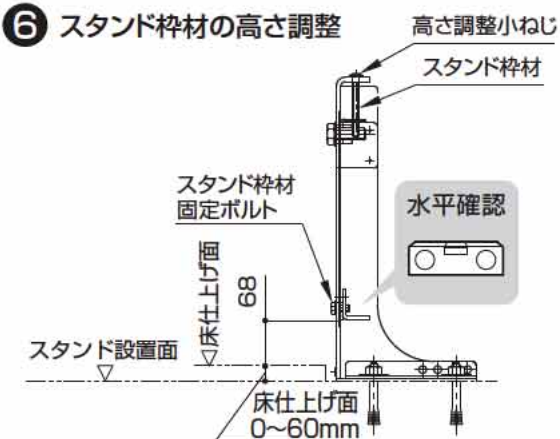


X=スタンド(t7.7)+床固定座金 (t3.2) + (不陸がある時は7mm以内)

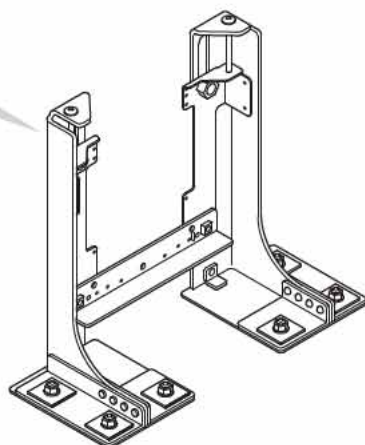
5



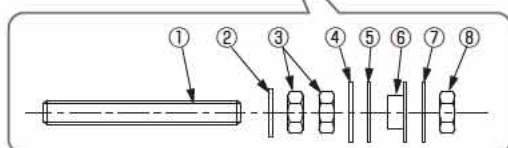
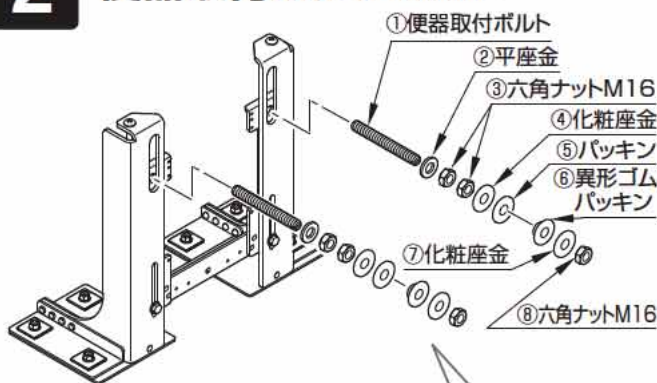
6 スタンド枠材の高さ調整



垂直確認



2 便器取付ボルトの仮固定



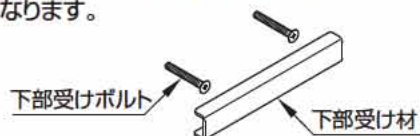
注意

下部受け材と下部受けボルトは、便器取付ボルトなどに袋ごとテープ止めするなどして紛失しないようにする

大便器施工時使用します。使用しないと、水漏れして財産損害発生の原因となります。



必ず守る



MEMO

3 単独排水継手の設置

- ・排水ソケットの上下を間違えないように取り付けてください。
(※形状をご確認ください)



配管の取り回し

⚠ 注意



必ず守る

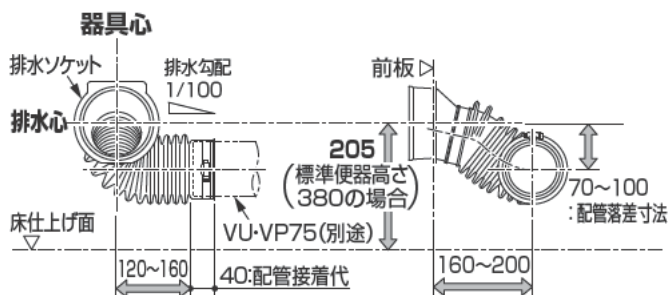
・配管(VU・VP75)と継手は硬質塩化ビニル管用接着剤で接着後バンド固定する

漏水の原因となり、周囲に損害を与えるおそれがあります。

・継手を下に振って設置しない
壁掛大便器取付スタンドの固定強度が確保できなくなります。



【横に振る場合】



⚠ 注意



必ず守る

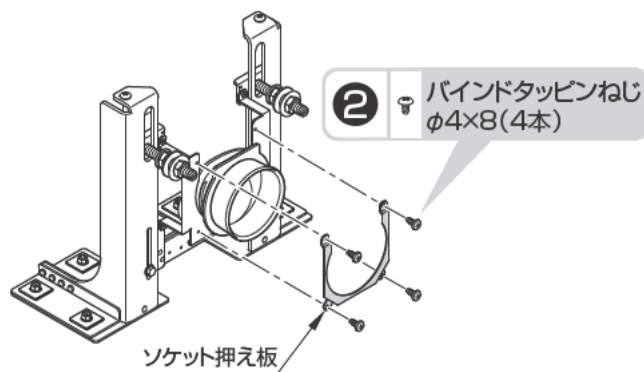
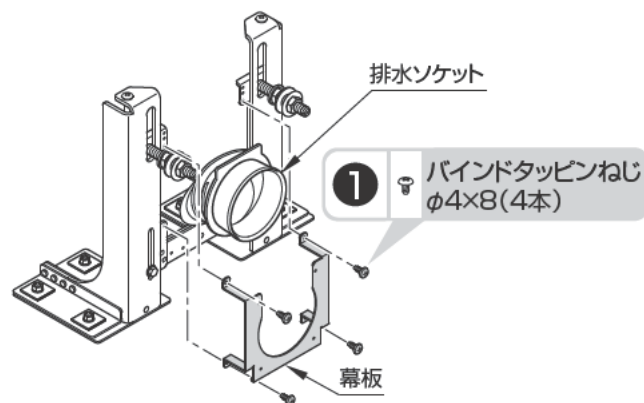
ジャバラ部を無理に曲げたり、逆勾配にならないように接続する

漏水の原因となり、周囲に損害を与えるおそれがあります。



MEMO

4 幕板・ソケット押え板の取り付け



MEMO

STEP1. フレーム

1
フレーム

- 1 フレーム固定位置の墨出し**
P.35
- 2 大便器部フレームの取り付け準備、取り付け**
P.35
- 3 操作系部フレームの取り付け準備、取り付け**
P.37
- 4 洗面器部フレームの取り付け準備、取り付け**
P.39
- 5 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器、汚物流し部の連結材の取り付け**
P.40
- 6 ベビーチェア・ボード部フレームの取り付け準備、取り付け**
P.41
- 7 幼児用小便器部フレームの取り付け準備、取り付け**
P.42
- 8 汚物流し部フレームの取り付け準備、取り付け**
P.43
- 9 フレームの調整と本固定**
P.44

1 フレーム固定位置の墨出し

- 1** 製品の仕様を確認し、床壁固定位置を墨出しする
▶ 事前施工情報参照
【下地がコンクリートの場合】

- 2** 樹脂プラグ用の下穴をあける
樹脂プラグ (下穴φ8 深さ:仕上げ厚+55mm)



2 大便器部フレームの取り付け準備、取り付け

※大便器部フレームが他のフレームの基準になります。

1 壁ハンガーの取り付け

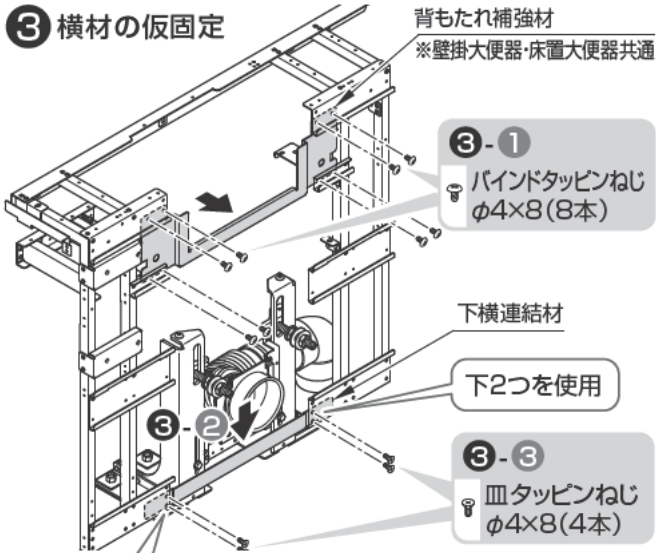
- 1-1** けがき
- 1-3** 水平確認 壁ハンガー
- 1-4** 本固定
- 1-2** 下穴
- トラスタッピンねじ φ5×50 (4本)
- 大形角 (4個)
- 長穴
- フレーム上端が床仕上げ面より807
- 長穴中央が操作系部壁仕上げ面より590

2 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

- 2-4** 大便器部横に別のフレームが付く場合
バインドタッピンねじ φ4×8 (1本)
- 2-3** バインドタッピンねじ φ4×8 (8本)
- 2-2** 【上部】2カ所
アブセットタッピンねじ φ8×30 (2本)
10mm程度
- 2-1** 【下部】4カ所
アブセットタッピンねじ φ8×30 (4本)
15mm程度
- 2-4** 大便器部のみの場合
側板が取り付け側に、側板下部固定材を取り付ける
皿タッピンねじ φ4×8 (2本)

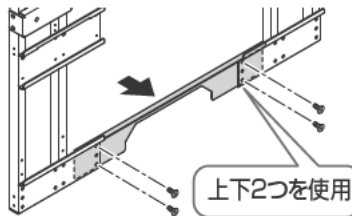
1 フレーム

③ 横材の仮固定



床置大便器の場合

皿タッピンねじ
φ4×8(4本)



④ フレームの調整

※あらかじめ床固定用下穴位置を確認してください。

④-②
水平確認

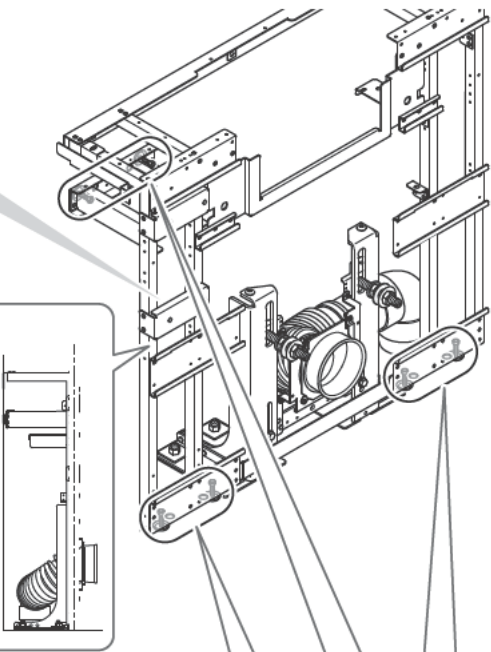


垂直確認



④-③

下げ振りまたは
レーザーなどで
垂直確認しながら
床のねじをとめる



④-①

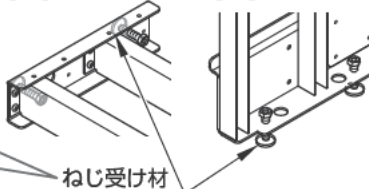
ねじ受け材は両面テープ
で張り付ける



↑ アプセットタッピンねじ
φ8×30(壁:2本、床:4本)

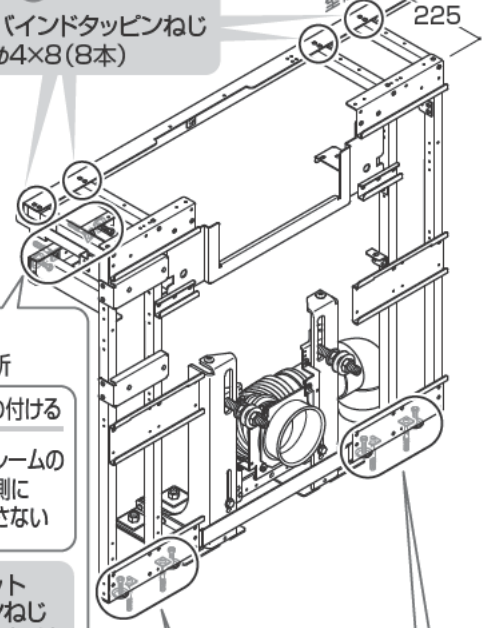
【壁】2カ所

【床】4カ所



⑤ フレームと横材の本固定

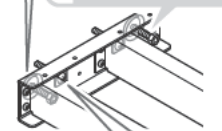
⑤-①
バインドタッピンねじ
φ4×8(8本)



⑤-③
【壁固定】2カ所

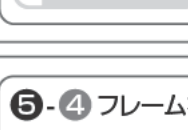
ねじ受け材を張り付ける
× フレームの
外側に
出さない

↑ アプセット
タッピンねじ
φ8×30(2本)



⑤-④
フレームを固定する

↑ トラス
タッピンねじ
φ5×50(2本)



⑤-②【床固定】4カ所

↑ アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)



⑤-④ フレームを固定する ※必ず樹脂プラグを入れて
ください。

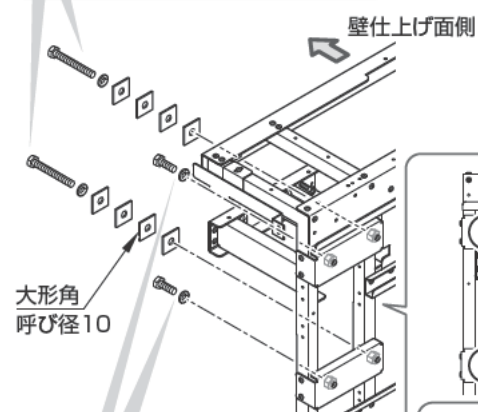
↑ トラストタッピンねじ
φ5×50(4本)

↑ 床下穴φ8
深さ55mm

⑥ はね上げ手すり固定ボルトの取り付け

六角ボルト(大)
(2本)

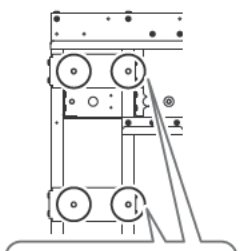
ばね座金
M10(2個)



六角ボルト(小)
(2本)

ばね座金
M10(2個)

4カ所全て突き出ない
ようにする

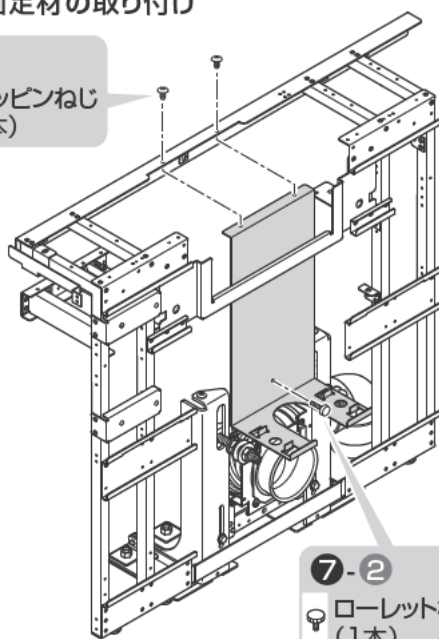


壁掛大便器の場合

7 タンク固定材の取り付け

7-1

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

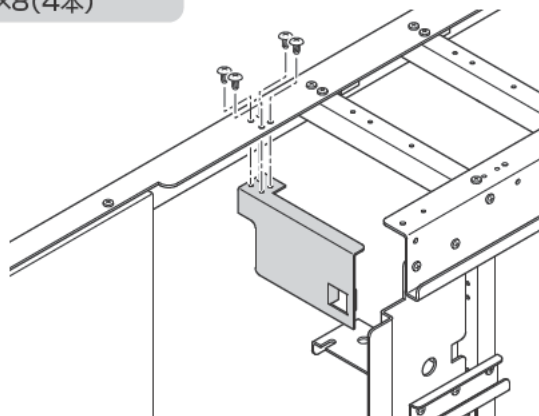


7-2

ローレットねじ
(1本)

8 便器洗浄ユニット支持材の取り付け

バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)



※停電対応タイプを選択の場合は、形状が異なります。

3 操作系部フレーム の取り付け準備、取り付け

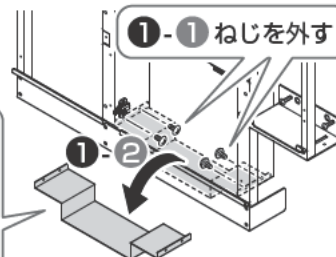
1 チャームボックス受け材を外す

バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

1-1 ねじを外す

1-2

取り外した部品は
⑤ チャームボックス受け材
の取り付けで使用するの
で、ねじと一緒に保管してお
いてください。



2 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁上部】4カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

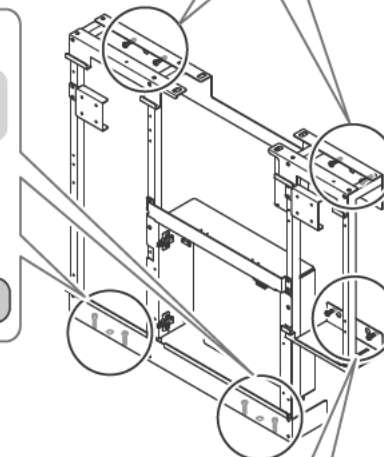
250mm以上の
ロングビット

10mm程度

【床】4カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

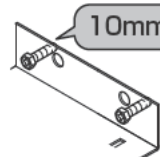
15mm程度



【壁下部】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

10mm程度

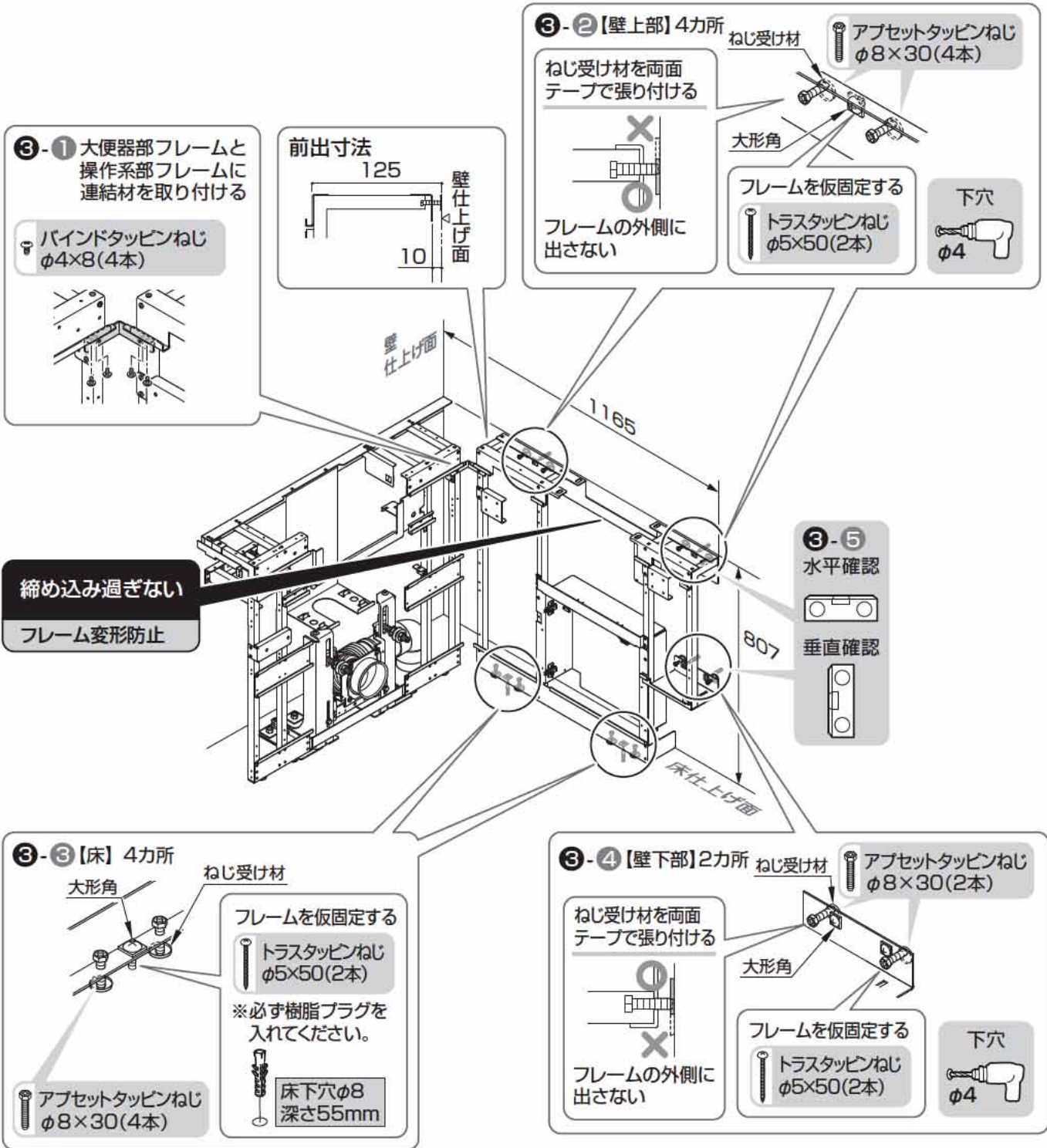


MEMO

MEMO

③ フレームの位置調整

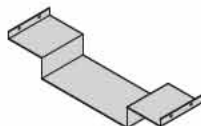
※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。



④ 仮固定のねじを本固定する

⑤ STEP1 (P.37) で外したチャームボックス受け材を取り付ける

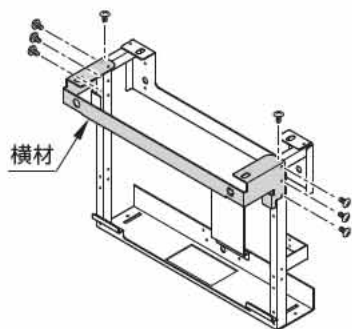
バインドタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (4本)



4 洗面器部フレーム の取り付け準備、取り付け

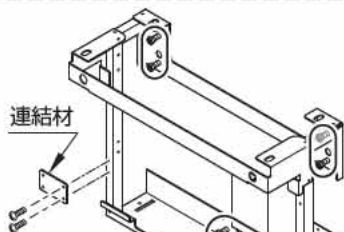
1 横材の固定

洗面器部フレームに同梱
バインドタッピンねじ
φ4×8(8本)



2 連結材の固定

洗面器部フレームに同梱
バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

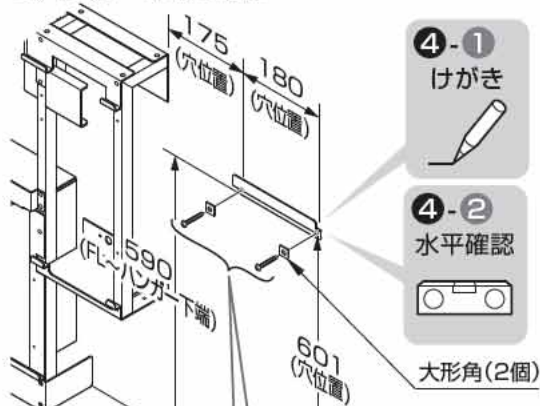


3 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

アブセット
タッピンねじ
φ8×30(6本)



4 フレームハンガーの取り付け



4-1 けがき

4-2 水平確認

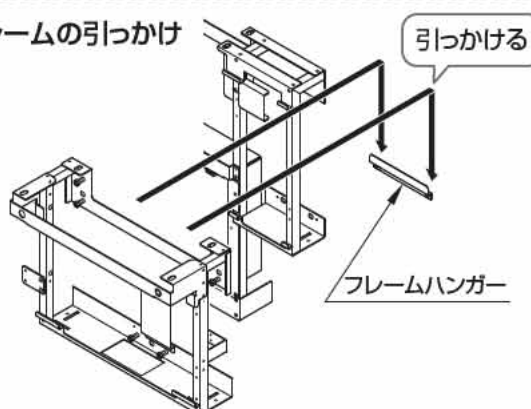
大形角(2個)

4-3 本固定

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)



5 フレームの引っかけ



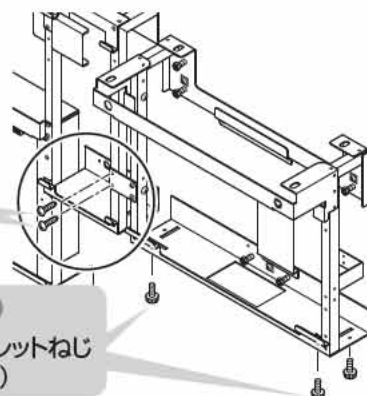
6 操作系部フレームと洗面器部フレームを連結する

6-1

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

6-2

ローレットねじ
(3本)



7 フレームの位置調整

7-1 ねじ受け材を両面テープで壁に仮止めする

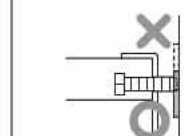
7-2

ねじ受け材を
張り付ける

ねじ受け材

アブセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

大形角



フレームの外側に
出さない

7-5 フレームを 仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)



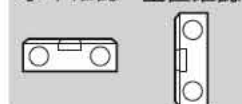
前出寸法

225

壁仕上げ面

7-4

水平確認 垂直確認



7-3

大形角

アブセット
タッピンねじ
φ8×30(2本)

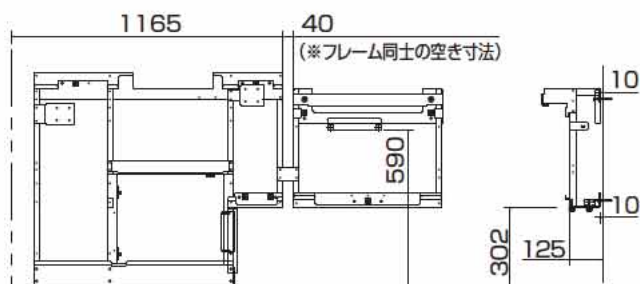
ねじ受け材

7-5 フレームを 仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(1本)



フレーム調整寸法



⑧ ねじを本固定する

5 ベビーチェア・ボード部、
幼児用小便器部、汚物流し部の
連結材の取り付け

① 仕様を確認して、フレームと連結材を選定する

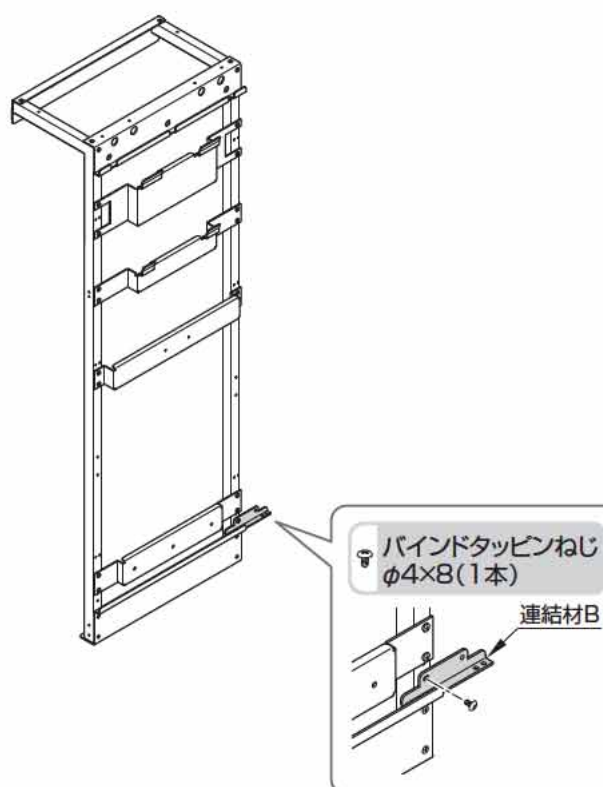
② フレームに連結材を固定する

【大便器部と連結する場合】

・連結材Bを固定する

※イラストはベビーチェア・ボード部の場合です。

※幼児用小便器部、汚物流し部のフレームの場合も同様です。

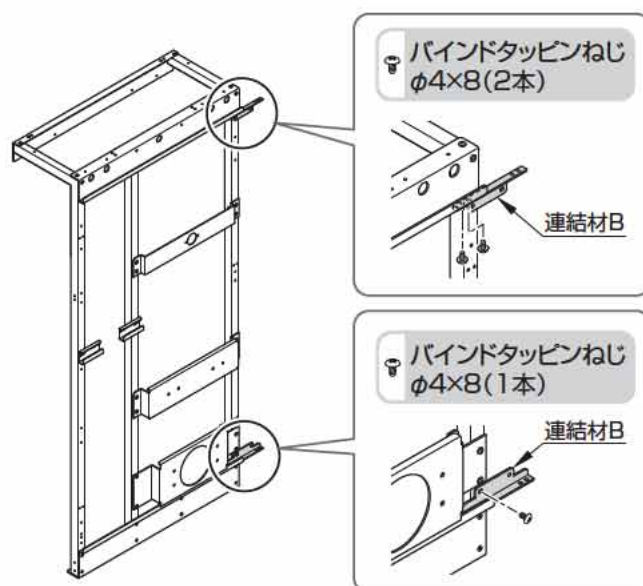


【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部と連結する場合】

・連結材B(2個)を固定する

※イラストは幼児用小便器部の場合です。

※汚物流し部のフレームの場合も同様です。



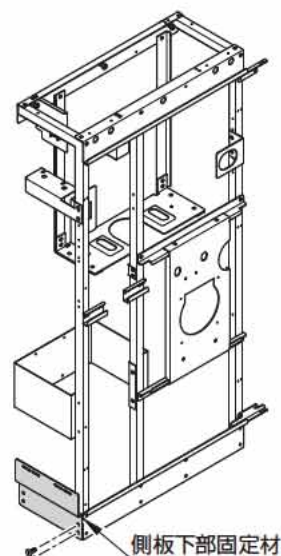
③ 側板下部固定材の固定

【側板がある場合】

・大便器部から最も離れている器具に固定する

※イラストは汚物流し部の場合です。

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部のフレームにも同様に固定が可能です。



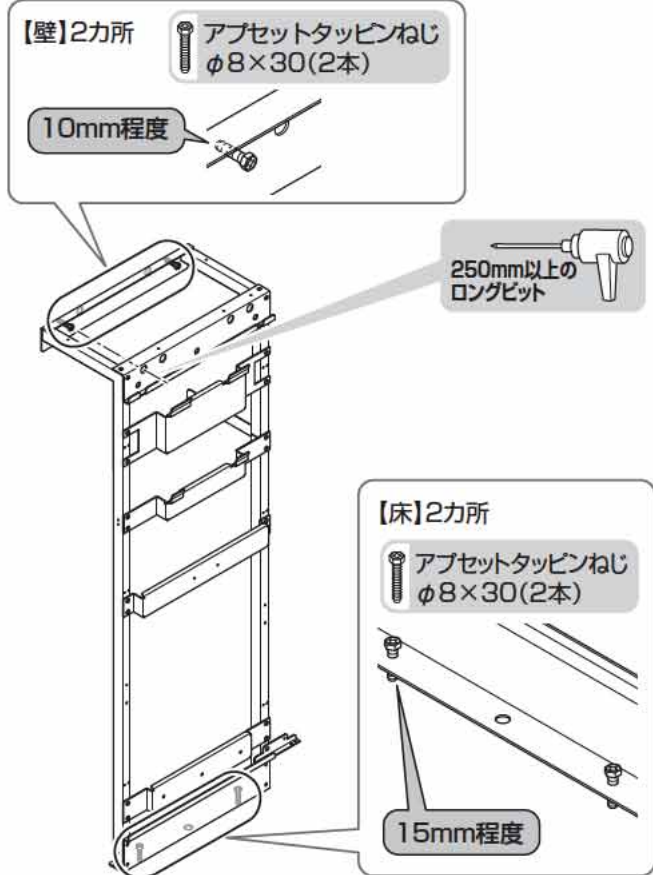
側板がある場合

側板に同梱

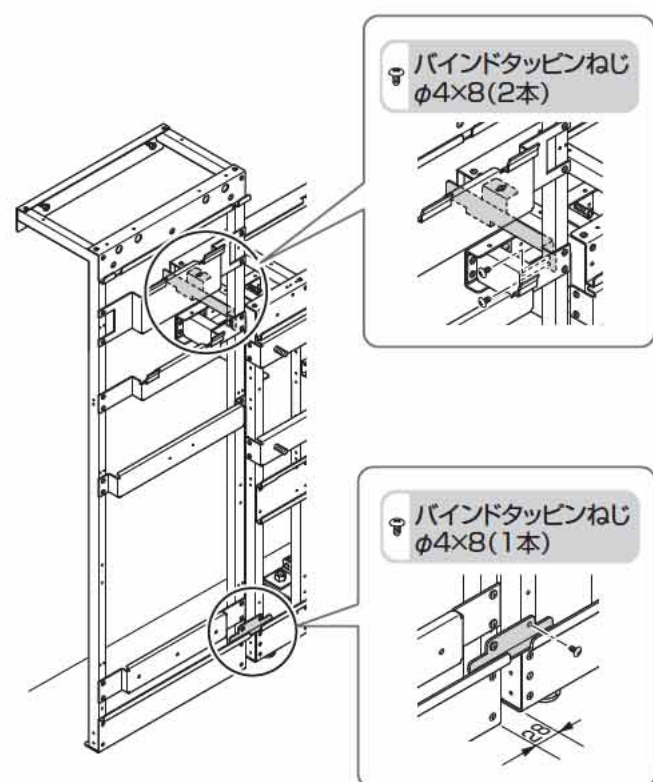
皿タッピンねじ
φ4×8(2本)

6 ベビーチェア・ボード部フレームの取り付け準備、取り付け

① 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

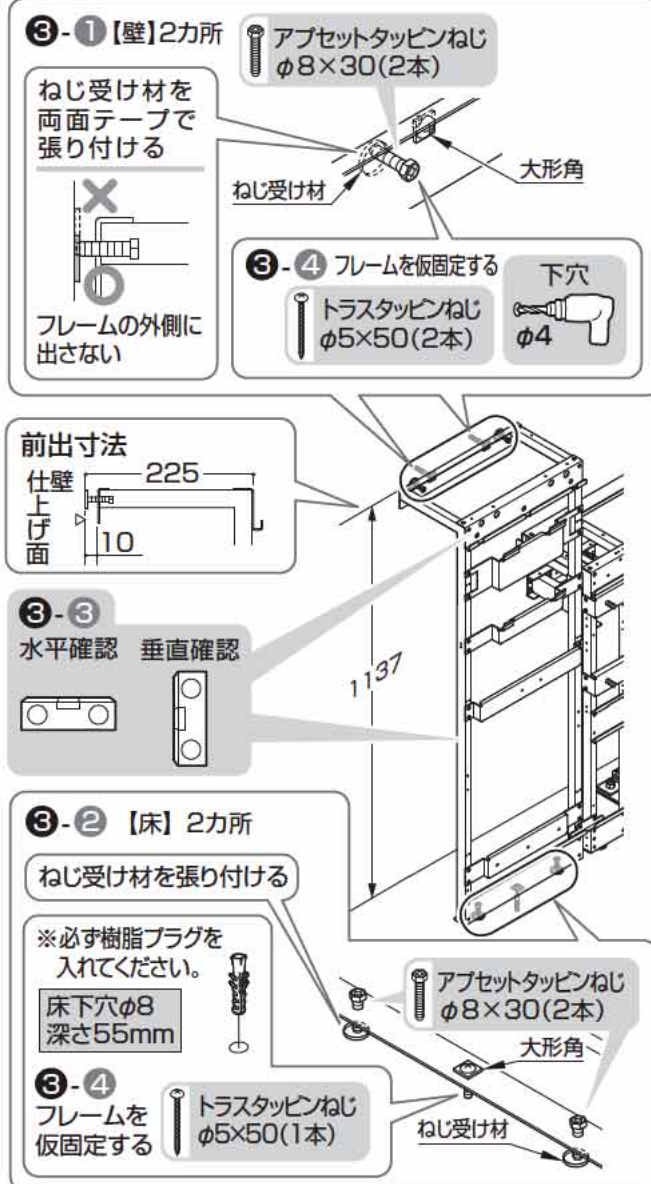


② 連結材の取り付け ・大便器部横と連結する



③ フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。



MEMO

7 幼児用小便器部フレーム の取り付け準備、取り付け

① 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

10mm程度

250mm以上の
ロングビット

【床】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

15mm程度

② 連結材の取り付け

【大便器部と連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

【ベビーチェア・ボード部に連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

③ フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

③-①【壁】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)ねじ受け材を両面
テープで張り付ける

フレームの外側に出さない

ねじ受け材

大形角

③-④ フレームを仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

下穴

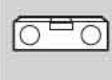
φ4

前出寸法

仕壁 225
上げ面 10

③-③

水平確認 垂直確認



③-②【床】3カ所

ねじ受け材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを
入れてください。床下穴φ8
深さ55mm

③-④

フレームを
仮固定するトラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

大形角

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

ねじ受け材

8 汚物流し部フレーム の取り付け準備、取り付け

① 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

10mm程度

250mm以上の
ロングビット

【床】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

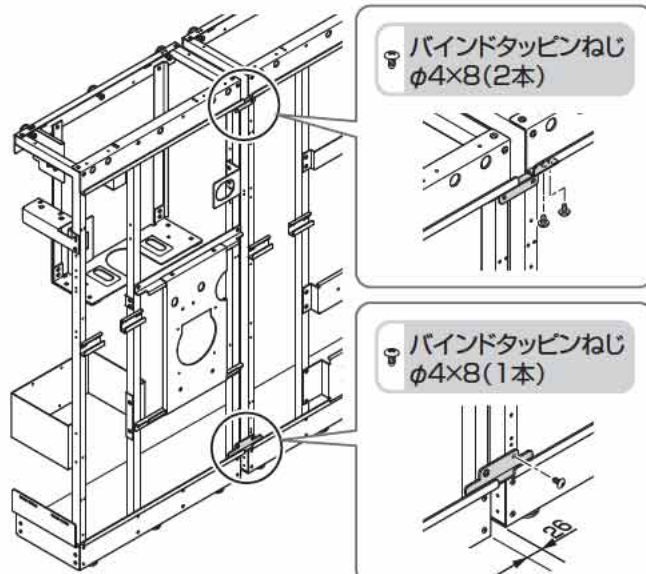
15mm程度

② 連結材の取り付け 【大便器部と連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部と連結する場合】
※イラストは幼児用小便器部と連結する場合です。
ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。



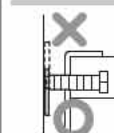
③ フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

③-①【壁】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

ねじ受け材を両面
テープで張り付ける



フレームの外側に出さない

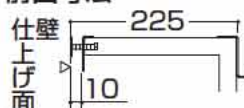
③-④ フレームを仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

下穴

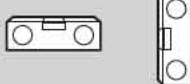
φ4

前出寸法



③-③

水平確認 垂直確認



③-②【床】3カ所

ねじ受け材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを
入れてください。

床下穴φ8
深さ55mm

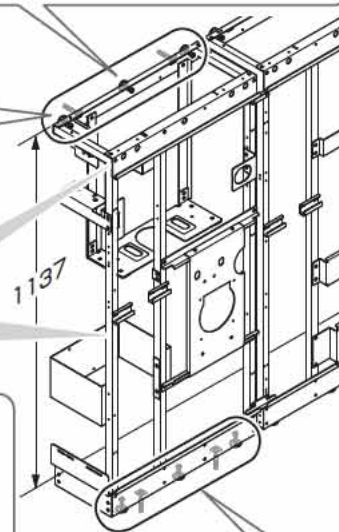
③-④
フレームを
仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

大形角

ねじ受け材

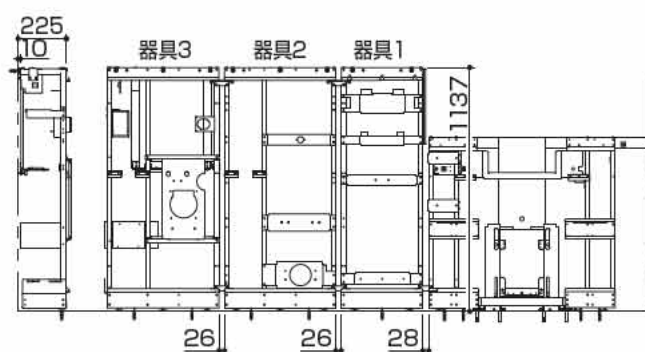


1

フレーム

9

フレームの調整と本固定



① フレームの位置調整

大便器部横の器具にあわせて調整する

② 各器具のねじを本固定する

MEMO

MEMO

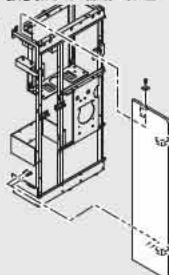
STEP2.フィラー固定材・側板(側板がある場合)

1 フィラー固定材の取り付け



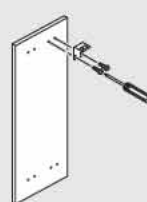
▶ P.45

2 側板の仮固定



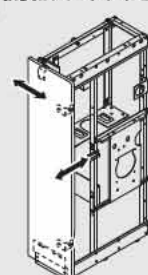
▶ P.46

3 側板の準備



▶ P.46

4 側板の本固定



▶ P.47

※本施工説明書では、右勝手のため側板が向かって左側に取り付く場合を記載します。
左勝手の場合は側板が向かって右側に取り付くので左右反転になります。

1 フィラー固定材の取り付け

【汚物流し部、ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部がある場合】

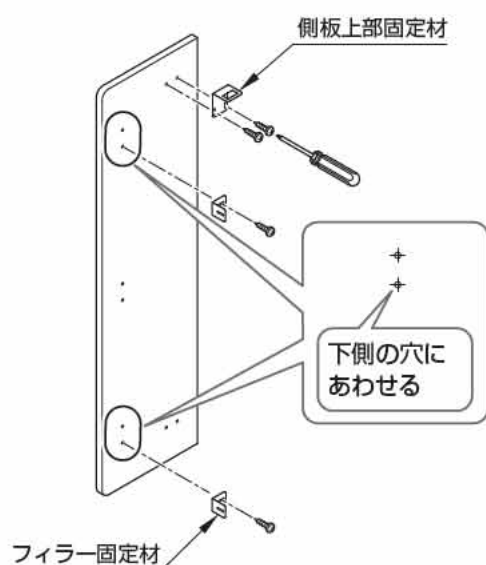
側板あり

フィラー固定材と側板上部固定材をねじで仮固定する

※長穴の中心を目安に手で動かせる程度。

タップインねじ
φ4×12 (4本)

手締めで



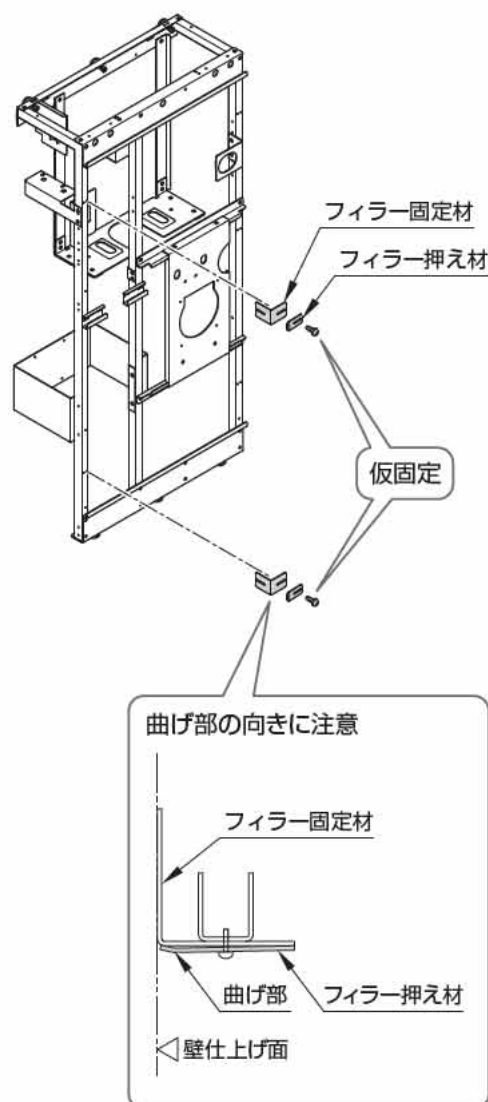
側板なし

フィラー固定材とフィラー押え材をフレームに仮固定する

※図は汚物流し部の場合。

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部の場合も同様です。

バインドタップインねじ
φ4×8 (2本)



2 側板の仮固定

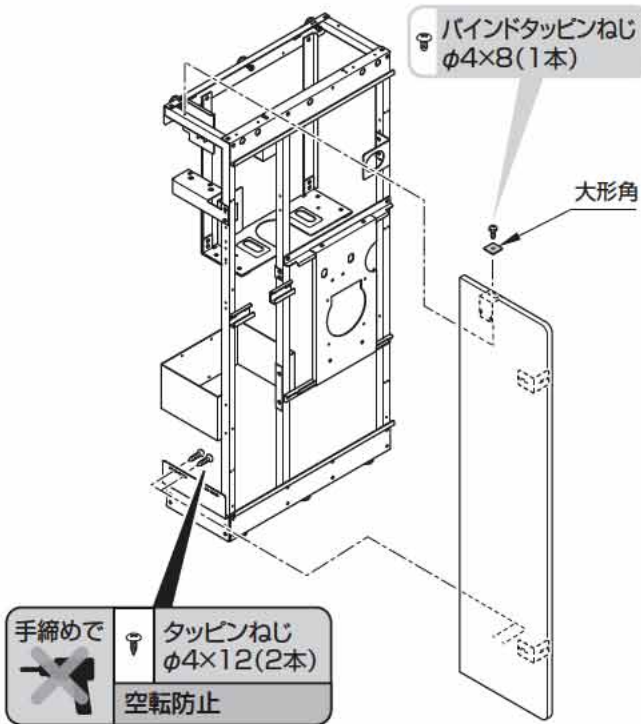
【汚物流し部、ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部の場合も同様です。

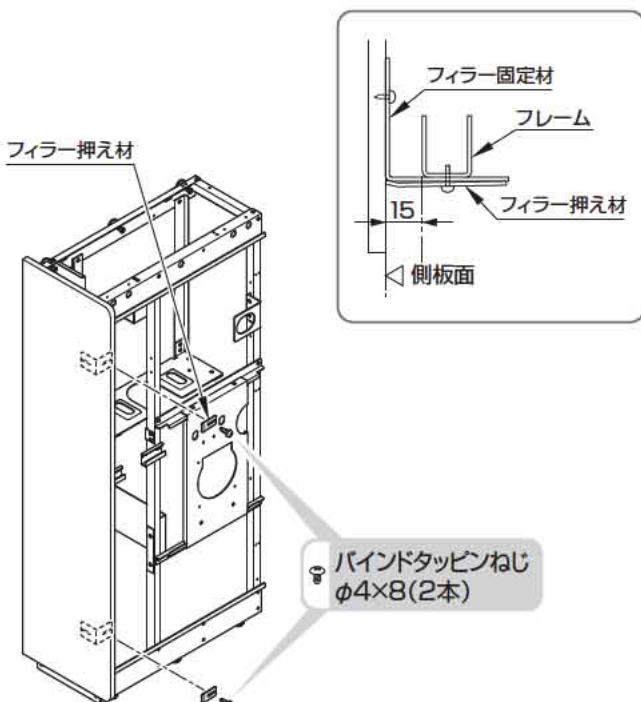
① 側板を側板下部固定材と側板上部固定材にて仮固定

※長穴の中心を目安に手で動かせる程度



② フィラー押え材をフィラー固定材の位置に仮固定する

※側板を動かせる程度

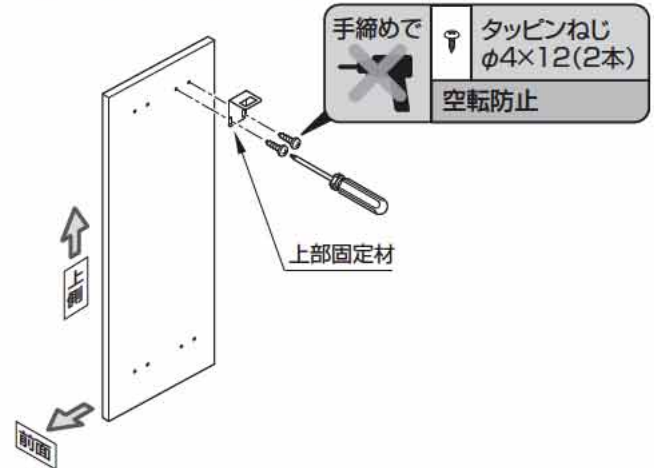


3 側板の準備

大便器部/操作系部/洗面器部

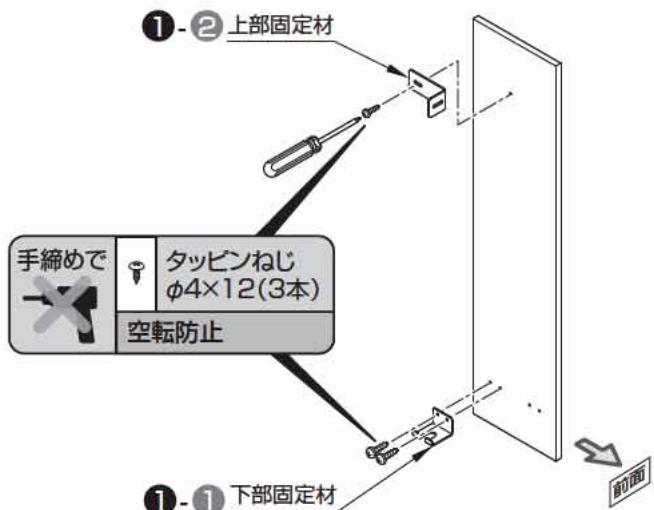
① 上部固定材と下部固定材を固定

【大便器部に側板が付く場合】

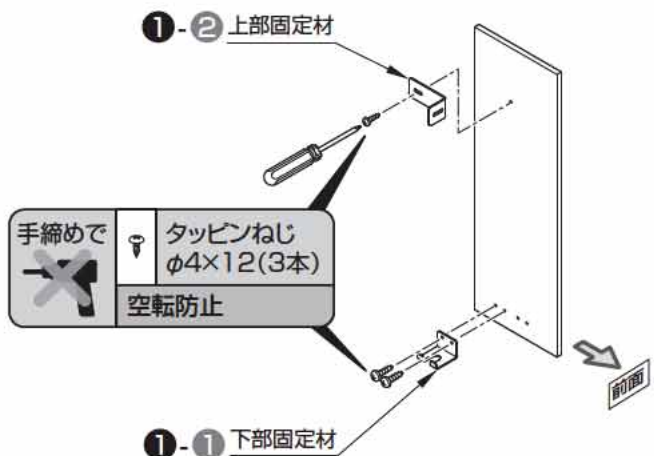


※大便器側の下部固定材はSTEP1で取り付けられているため不要です。

【操作系部(洗面器部なしの場合)】

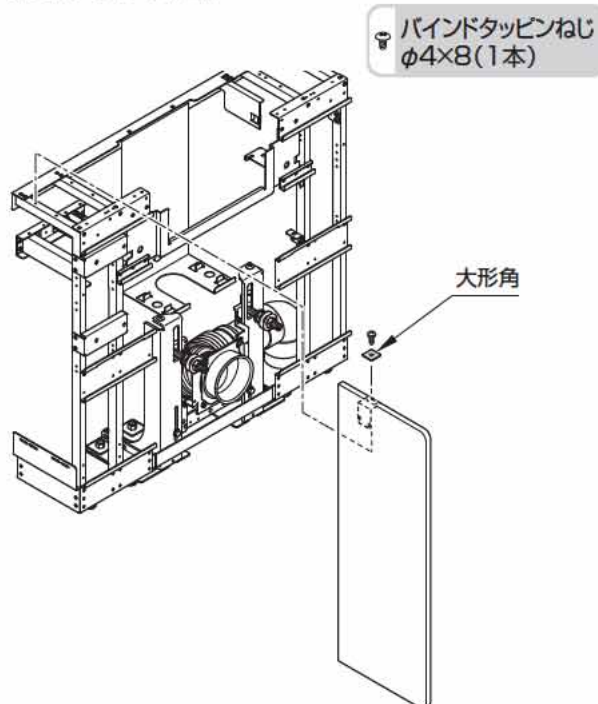


【洗面器部(洗面器部ありの場合)】



② フレームに側板を落下しない程度に仮固定する

【大便器部の場合】



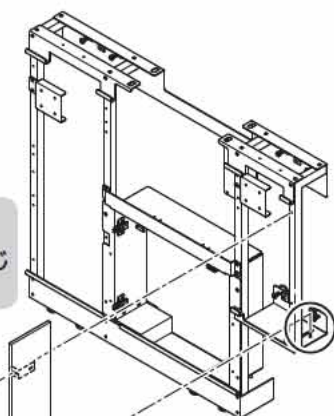
【操作系部(洗面器部なしの場合)】

手締めで



②-①

バインドタッピンねじ
φ4×8 (1本)



②-②

ローレットねじで固定

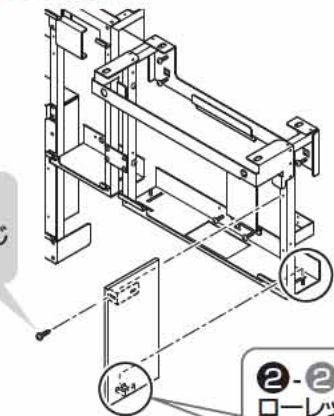
【洗面器部(洗面器部ありの場合)】

手締めで



②-①

バインドタッピンねじ
φ4×8 (1本)



②-②

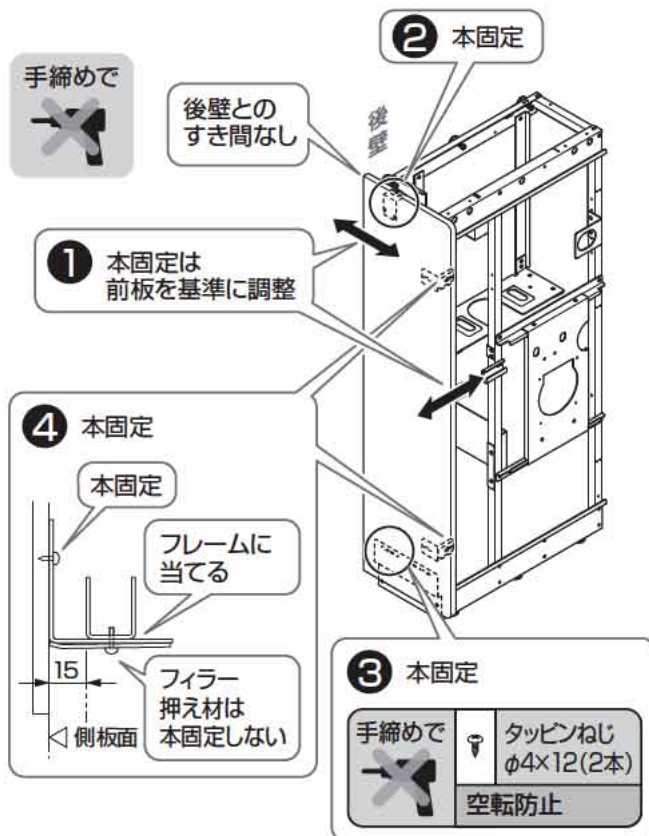
ローレット
ねじで固定

4 側板の本固定

【汚物流し部、ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部の場合も同様です。



MEMO

2

ファイラー固定材・側板

STEP3.汚物流し用排水継手

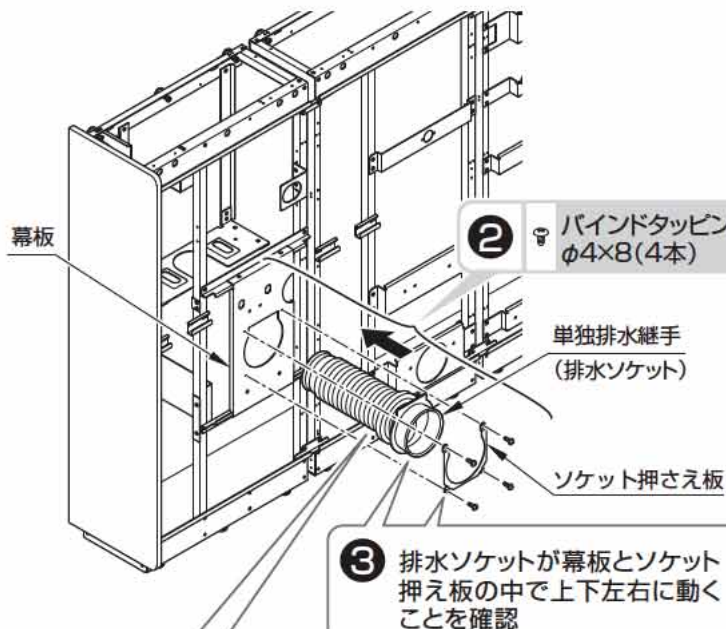
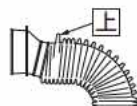
「汚物流しなし」の場合P.49
「STEP4.止水栓」に進んでください。



パッキンはSTEP14で使用

▶ 単独排水継手施工説明書参照

1 単独排水継手の向きを確認



4 内周塗布



塩ビ用
接着剤

外周塗布



塩ビ用
接着剤

ジャバラ部



バンド

5 固定

排水管(現場配管)

注意

締め過ぎに注意する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



必ず守る

注意



必ず守る

・ジャバラ部は必ず排水管に接着する
・ジャバラ部を無理に曲げたり逆勾配にならないよう接続する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

MEMO

STEP4.止水栓

【大便器部】と【汚物流し部】で施工方法が異なります。
商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

1 止水栓・分岐金具・L継手の取り付け



▶ P.49

2 サーモスタット・止水栓の接続



▶ P.51

3 止水栓の接続



① 止水栓の接続
▶ P.52

② フレキ管の接続
▶ P.52

大便器部

1 止水栓・分岐金具・L継手の取り付け

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし
↑ パウチしびん洗浄水栓 ウォシュレット ↓ セットタンク	ウォシュレット ↓ セットタンク ※分岐金具はウォシュレットに 同梱

<給水立ち上げ位置>

壁掛大便器の場合

左勝手	右勝手
壁仕上げ面 セットタンク 大便器	壁仕上げ面 セットタンク 大便器

床置大便器の場合

左勝手	右勝手
壁仕上げ面 セットタンク 大便器	壁仕上げ面 セットタンク 大便器

再生水仕様の場合

再生水側	水道水側				
↓ セットタンク	<table> <tr> <th>ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり</th><th>ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし</th></tr> <tr> <td> ウォシュレット パウチ・しびん 洗浄水栓 </td><td> ウォシュレット ふさぎナット </td></tr> </table>	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし	ウォシュレット パウチ・しびん 洗浄水栓	ウォシュレット ふさぎナット
ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし				
ウォシュレット パウチ・しびん 洗浄水栓	ウォシュレット ふさぎナット				

<止水栓位置>

注意

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう給水接続をする
必ず守る 故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。

左勝手	右勝手
壁仕上げ面 水道水 セットタンクに接続 ウォシュレットまたは パウチしびん洗浄水栓付 背もたれに接続 再生水 セットタンクに接続 大便器	壁仕上げ面 水道水 セットタンクに接続 ウォシュレットまたは パウチしびん洗浄水栓付 背もたれに接続 再生水 セットタンクに接続 大便器

汚物流し部

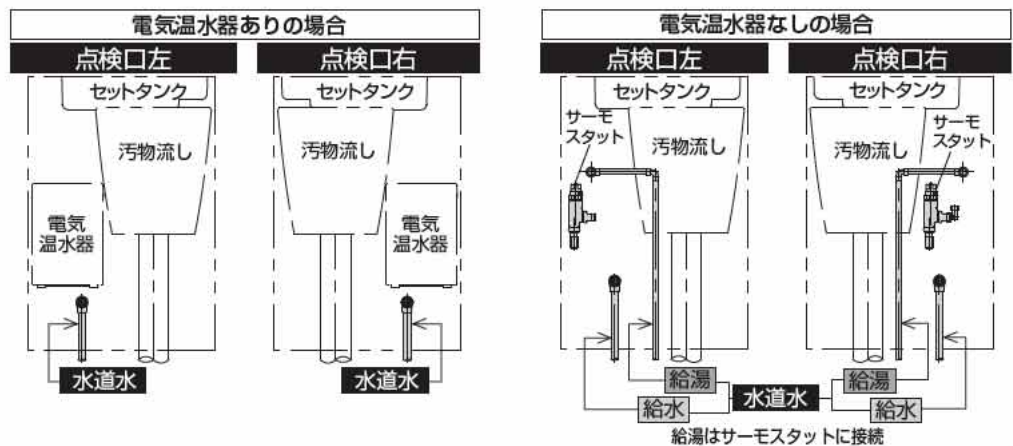
1 止水栓・分岐金具・L継手の取り付け

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。
下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

電気温水器あり・点検口左	電気温水器あり・点検口右	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
セットタンク ↓ 電気温水器	セットタンク ↓ 電気温水器	給湯 給水 シングル レバー ↑ セットタンク ↓ サーモスタット	給湯 給水 シングル レバー ↑ セットタンク ↓ サーモスタット ※フレームに付いています

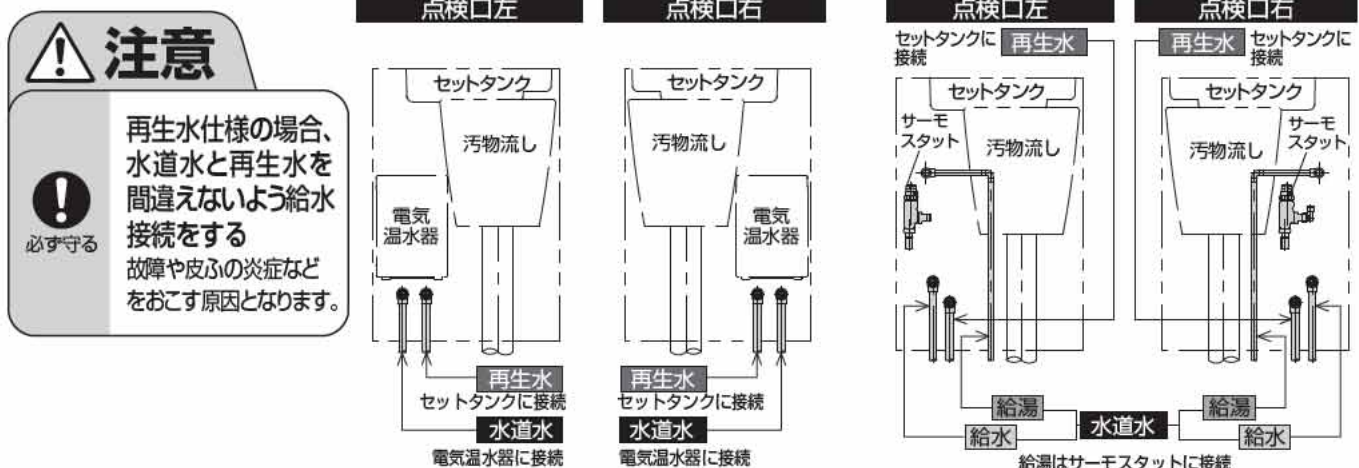
<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合

再生水側	水道水側
再生水側	電気温水器あり
点検口右 点検口左	左右勝手とも 下向き 電気温水器
再生水側	電気温水器なし・点検口左
	給湯 給水 シングル レバー ↑ サーモスタット
再生水側	電気温水器なし・点検口右
	給湯 給水 シングル レバー ↑ サーモスタット ※フレームに付いています

<止水栓位置>



2 サーマスタット・止水栓の接続

下記表を参考に、各止水栓とサーモスタットをフレキホース・フレキ管で接続します。

サーモスタットの接続先	長さ
止水栓(給水管用)フレキホース	約600mm
止水栓(給湯管用)フレキ管	約500mm

警告

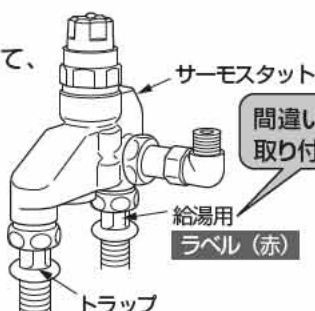
湯水を逆に接続しない
水を出そうとした際に湯が出て、
やけどの原因になります。



禁止

【サーモスタットの取出口】

- ・奥(壁)側…給湯用
- ・手前側…給水管用

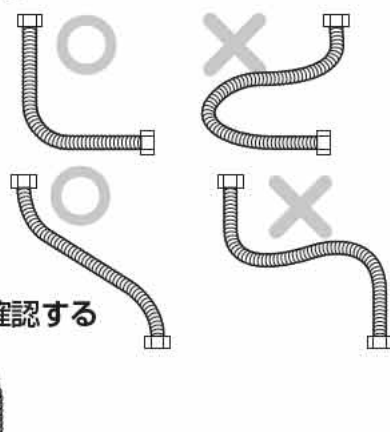


【フレキ管】

注意

フレキ管の取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

- ・フレキ管は、取り付けの前にあらかじめ所定の形に曲げる
フレキ管は小さい角度で曲げないでください。
また、袋ナット付け根部分を曲げないでください。
- ・1～2回程度の曲げで所定の形にする
曲げ作業をくり返すと破損するおそれがあります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取り付け後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキ管は極端に折らず、R60以上を確保する

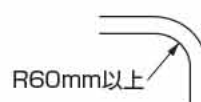


【フレキホース】

注意

フレキホースの取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

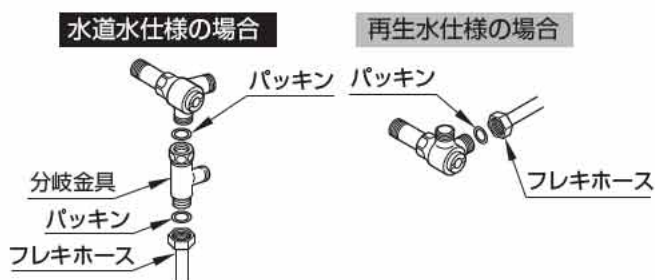
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取り付け後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキホースは極端に折らず、R60以上を確保する
- ・フレキ管とフレキホースは接触させない



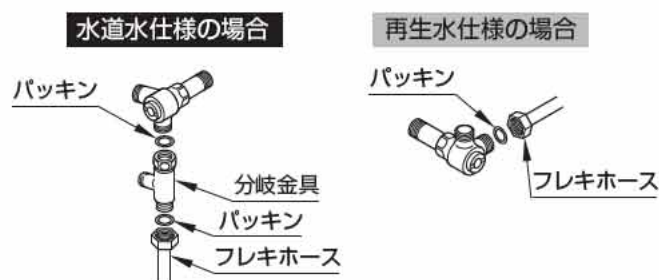
止水栓(給水管用)は一方の口をサーモスタットと接続し、もう一方の口はシングルレバーと接続します。
下記を参照して、接続する口を間違えないよう取り付けてください。

▶シングルレバーとの接続 P.85 STEP15参照

点検口左の場合



点検口右の場合



⚠ 注意



禁止

接続する給水口を逆に配管しない

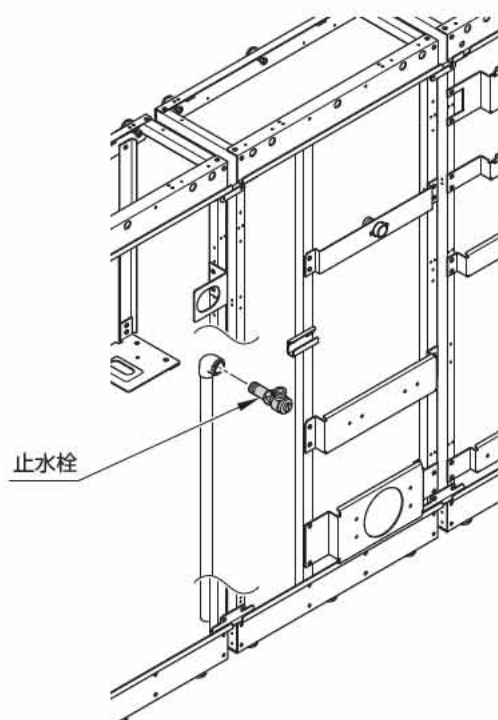
フレキホースに無理な力がかかってキンの原因となり水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

幼児用小便器部

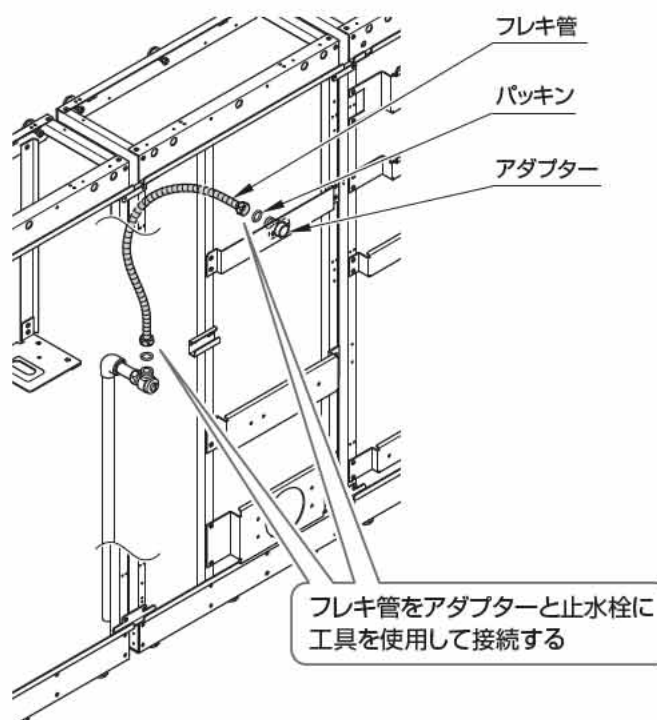
3 止水栓の接続

※イラストは点検口左の場合ですが、点検口右の場合も同様です。

① 止水栓の接続

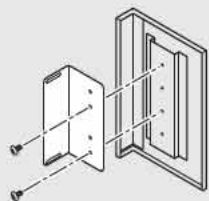


② フレキ管の接続



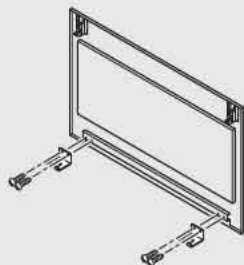
STEP5.側面パネル・前板(準備)

1 操作系側面パネルの準備



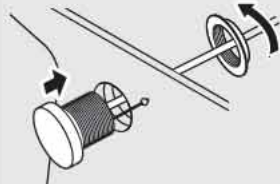
▶P.53

2 洗面器部前板の準備



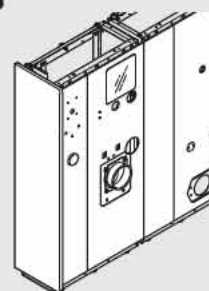
▶P.53

3 停電時対応洗浄レバーの準備



▶P.53

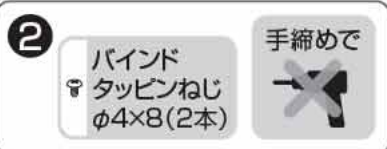
4 前板の仮組み・側板の固定



▶P.54

1 操作系側面パネルの準備

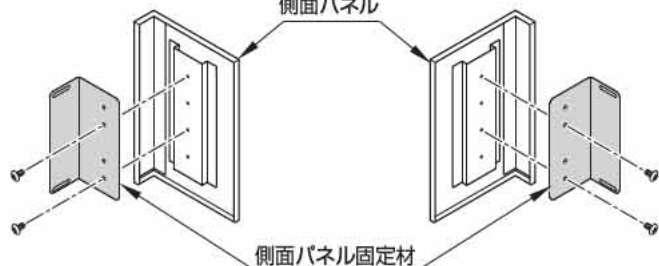
① 養生フィルムをはがす



【左勝手】

操作系
側面パネル

【右勝手】

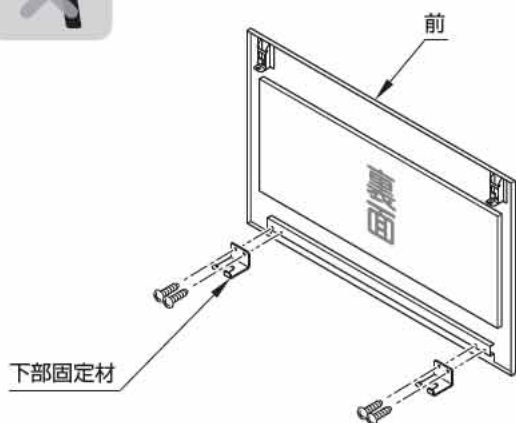


2 洗面器部前板の準備

手締めで



バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)



3 停電時洗浄レバーの準備

停電対応ありの場合

【大便器部／汚物流し部共通】

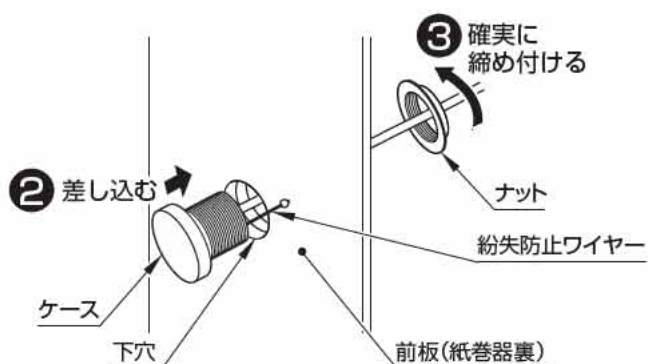
① 養生フィルムをはがす

開口に紛失防止ワイヤーを通して、ワイヤーをねじ部に挟み込まないように取り付ける

【大便器部】



【汚物流し部】



4 前板の仮組み・側板の固定

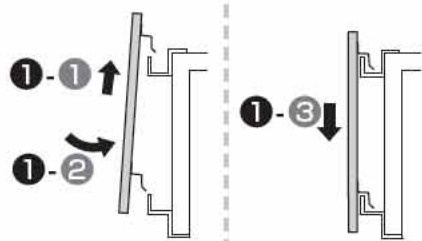
壁掛大便器

① ①～⑬の順番で前板を設置する

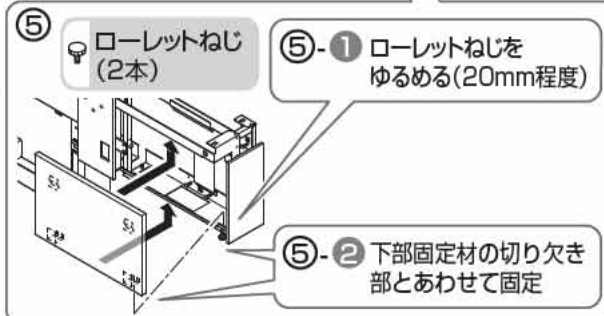
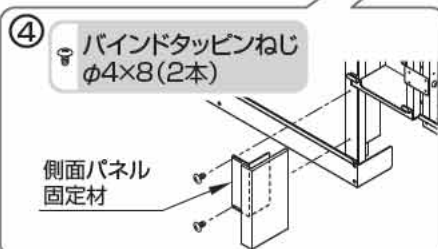
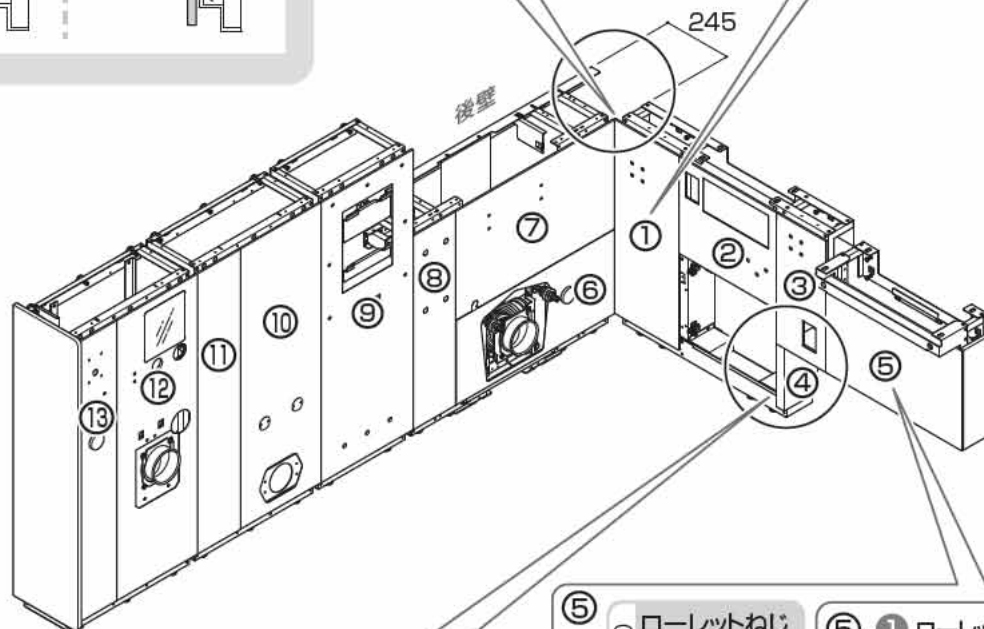
注意

仮組みの段階で④⑥⑬以外の養生フィルムははがさない

前板の取り付け方



① 壁仕上げ面から、245mm程度離して①の前板を取り付ける

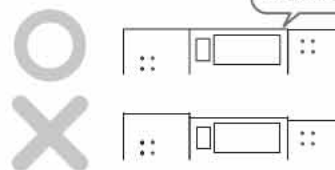


② 各前板の段差を解消させる

【ポイント】

⑨、⑩ の上部段差
⑪、⑫ の上部段差
①、⑦ の上部段差

③、④ の縦線
③、⑤ の下部段差



【上下段差が解消しない場合】

前板の仮組みを行い、上下段差、面段差を解消させる。

▶ 上下段差の調整方法はSTEP1 参照

5

側面パネル・前板(準備)

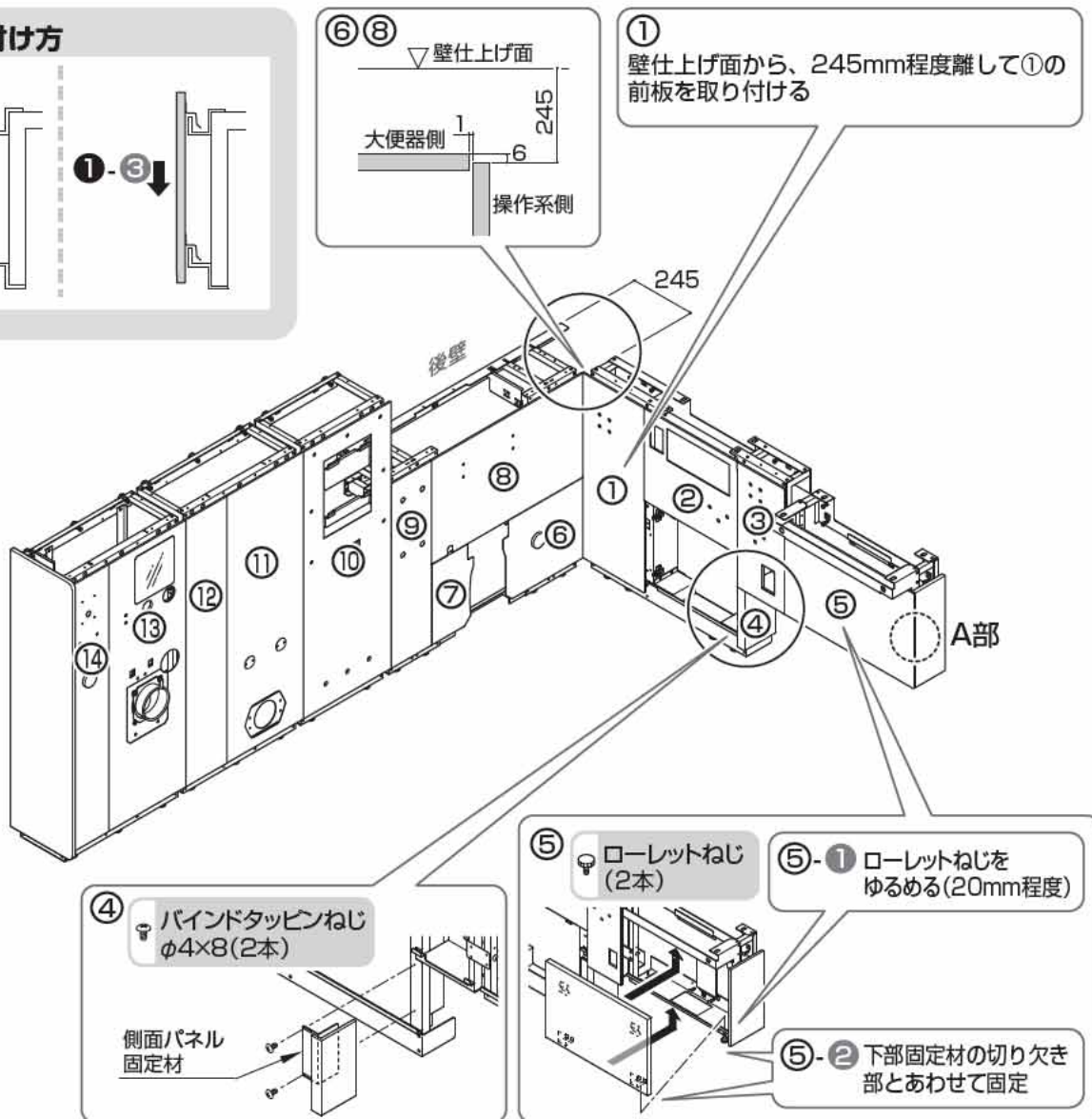
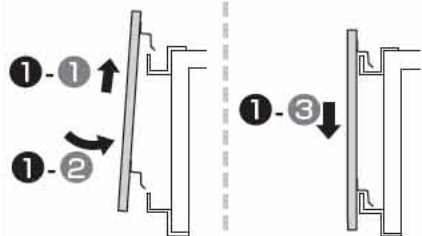
床置大便器

① ①～⑭の順番で前板を設置する

注意

仮組みの段階で④⑥⑭以外の養生フィルムははがさない

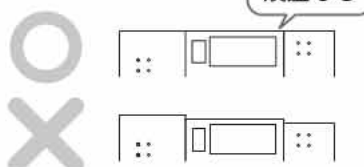
前板の取り付け方



② 各前板の段差を解消させる

【ポイント】

- ①、⑧ の上部段差
- ⑩、⑪ の上部段差
- ⑫、⑬ の上部段差
- ③、④ の縦線
- ③、⑤ の下部段差



【上下段差が解消しない場合】

前板の仮組みを行い、上下段差、面段差を解消させる。
▶ 上下段差の調整方法はSTEP1 参照

共通

③ 側板の調整、固定

【正面から見た図】 ※P.55 A部の例

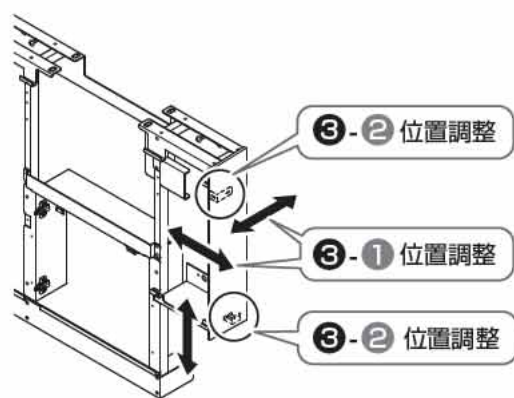


【前板とつらがあっていない場合】
前板を取り外し、側板を壁面に対して、前後、上下させ調整を行う

調整方法

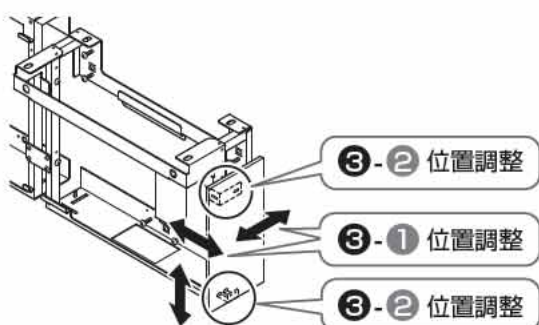
【操作系部】

手締めで



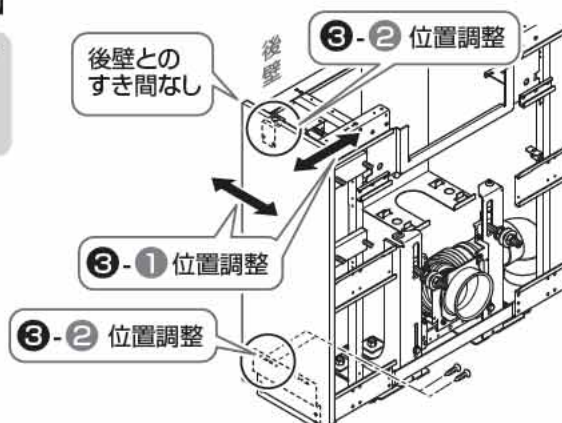
【洗面器部】

手締めで



【大便器部】

手締めで



バインドタッピンねじ
φ4×12(2本)

④ 調整したねじを固定する

手締めで



※前板を取り付け、取り外ししながら現場で調整してください。

⑤ 調整完了後、側面パネル以外の全ての前板を取り外す

※後のSTEPで内部機器の設置をしやすいするためです。

MEMO

STEP6.大便器

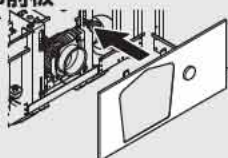
壁掛大便器

1 スパッド・排水パッキンの準備、取り付け



▶ P.57

2 大便器部前板の取り付け



▶ P.58

3 大便器の取り付け



▶ P.59

床置大便器

1 大便器の仮固定

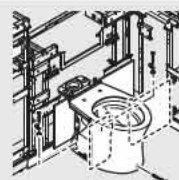


▶ P.60

2 排水ジョイント・排水管の取り付け

▶ 排水ジョイント施工説明書

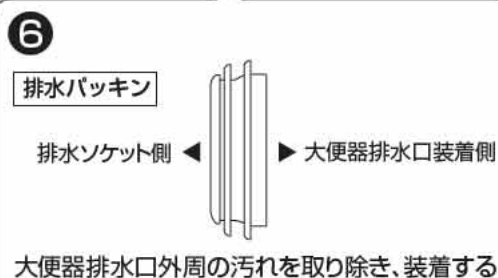
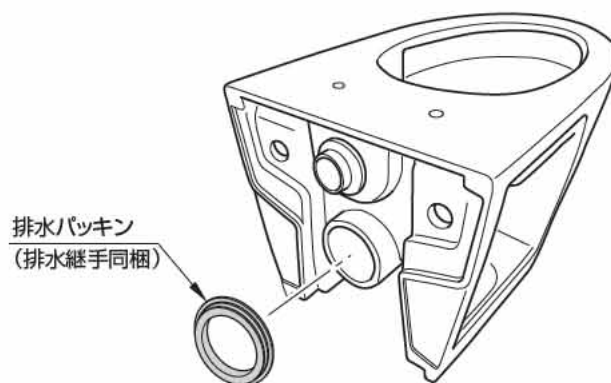
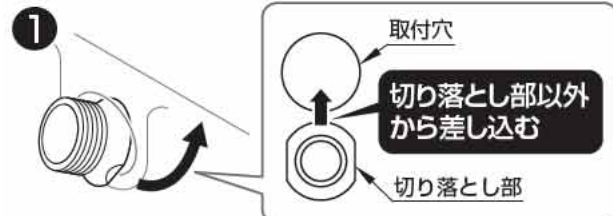
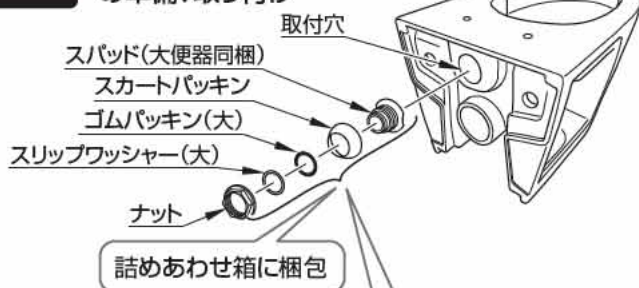
3 大便器の取り付け



▶ P.61

壁掛大便器

1 スパッド・排水パッキンの準備、取り付け



注意



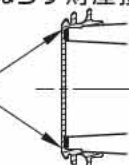
禁止

排水パッキン表面に必ず水または石けん水をつけてから差し込み、グリスは使用しない
劣化し水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



必ず守る

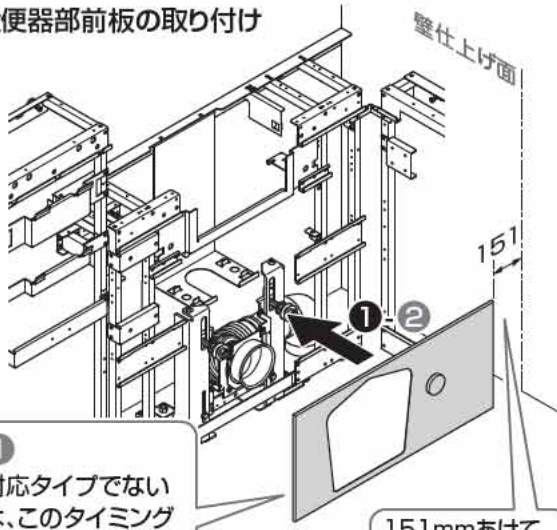
排水パッキンは大便器排水口に密着するまで押し込む
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
密着するまで押し込む



壁掛大便器

2 大便器部前板の取り付け

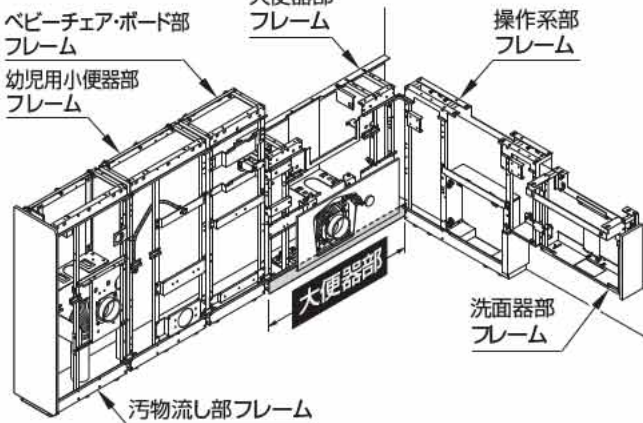
1 大便器部前板の取り付け



1-1 停電対応タイプでない場合は、このタイミングで養生フィルムをはがす

151mmあけて取り付ける

幅木の位置



ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部がある場合

2

2-1 表面の養生フィルムをはがす

【裏面】

2-2 脱脂



幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

2-3 端まで

両面テープ



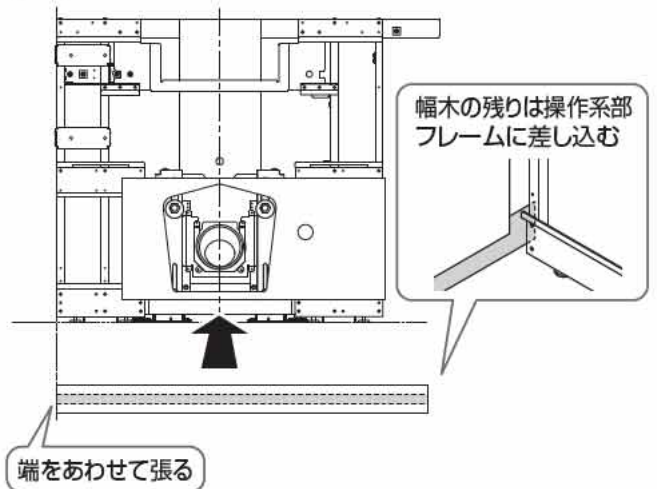
幅木



2-3 端まで

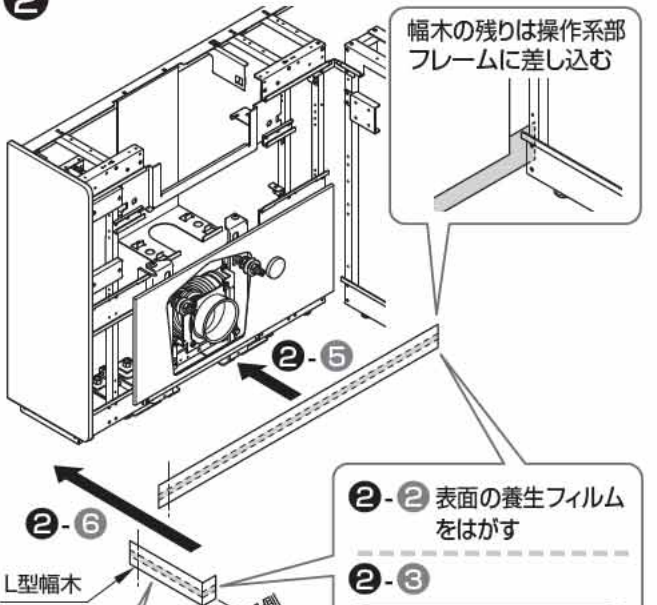


2-4



大便器部のみの場合

2



2-6



2-1 壁までの奥行きにあわせる

カット



※カット面はバリ取りをしてください。

2-2 表面の養生フィルムをはがす

2-3

脱脂



幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

2-4 端まで

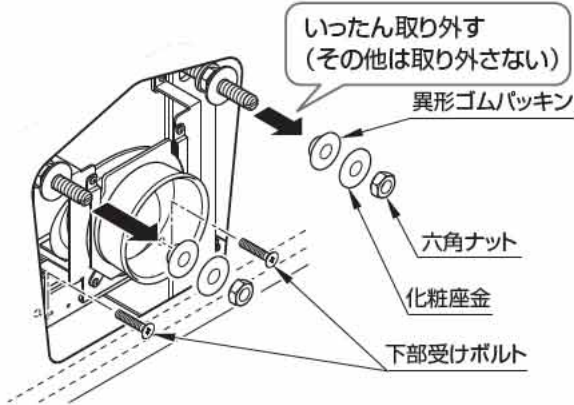
両面テープ



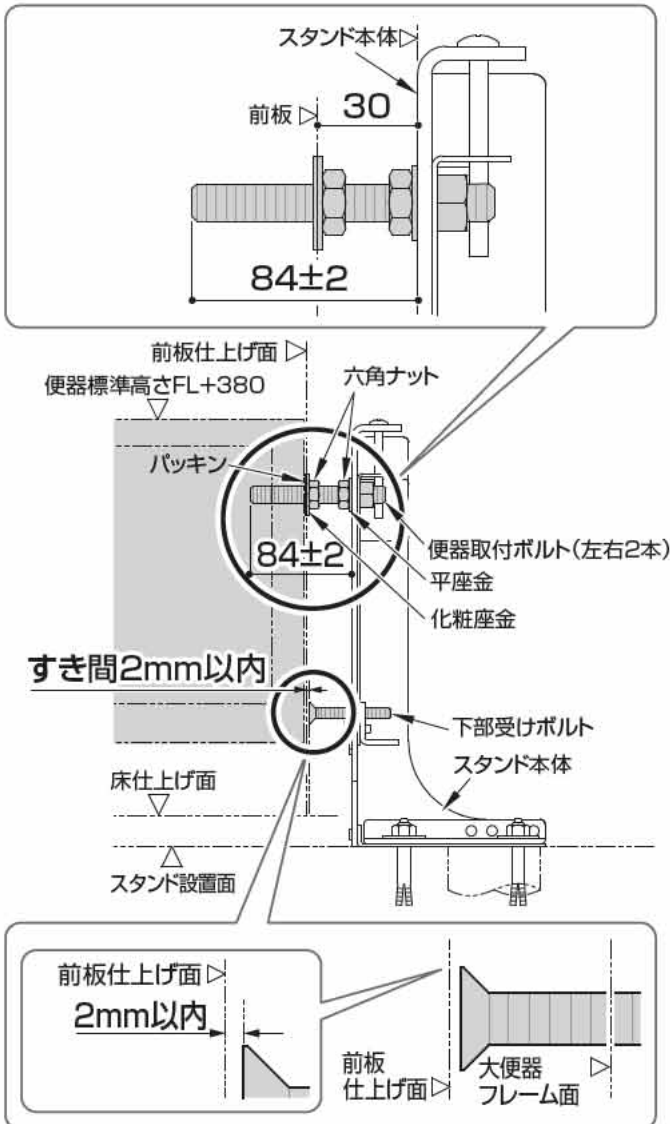
MEMO

壁掛大便器

③



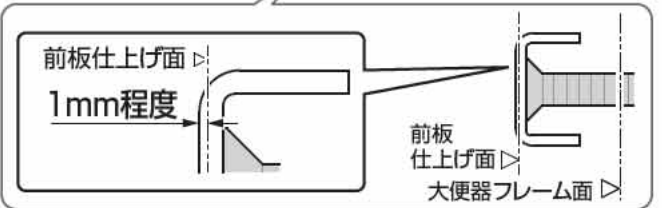
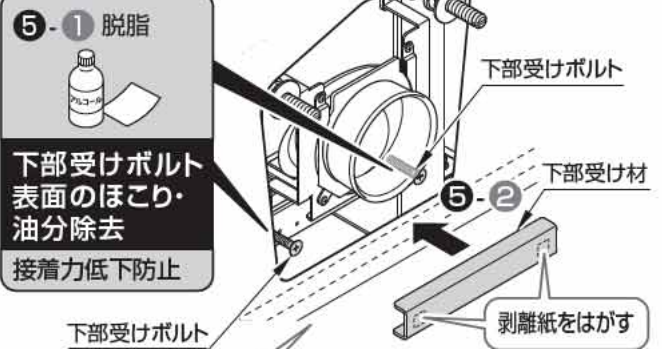
④ 便器取付ボルトと下部受けボルトの出寸法、ナット類の調整、本固定



⚠ 注意

下部受けボルトを前板仕上げ面より2mm以上引っ込めない
壁材に荷重がかかり、壁材が破損したり水漏れの原因となります。

⑤ 下部受け材の取り付け



⚠ 注意

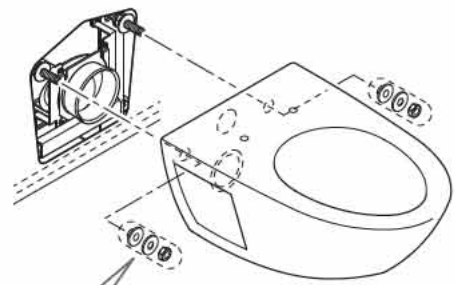
・下部受け材は必ず取り付ける
・下部受け材は前板仕上げ面より必ず1mm程度前に出す
必ず守る 壁材に荷重がかかり、壁材が破損したり水漏れの原因となります。

③ 大便器の取り付け

▶ 大便器同梱の施工説明書参照

仮固定

①



異形ゴムパッキン

化粧座金

六角ナット

※重ねてから差し込むとスムーズに取り付けできます。

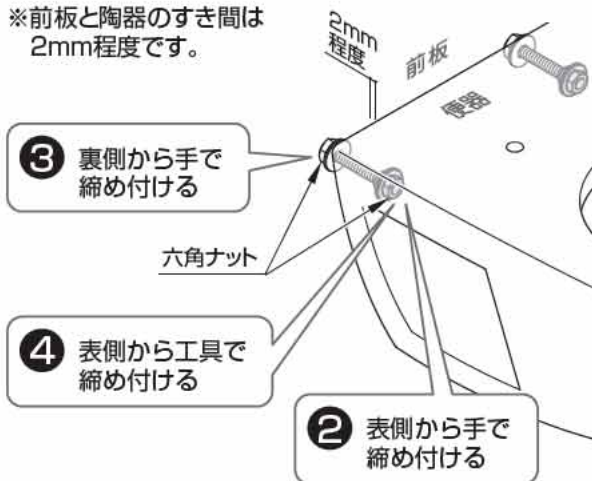
⚠ 注意

便器下端を必ず下部受け材に接触させ、便器にかかる荷重を2本の便器取付ボルトと下部受け材で支持する
必ず守る 下部受け材が前板仕上げ面より引っ込んでいると、壁材に荷重がかかり壁材が破損したり水漏れの原因となります。

壁掛大便器

本固定

※前板と陶器のすき間は
2mm程度です。



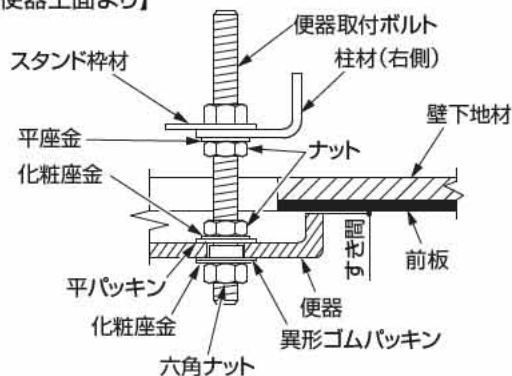
パッキンの擦れる音が発生したら、
六角ナットを若干ゆるめる

破損防止

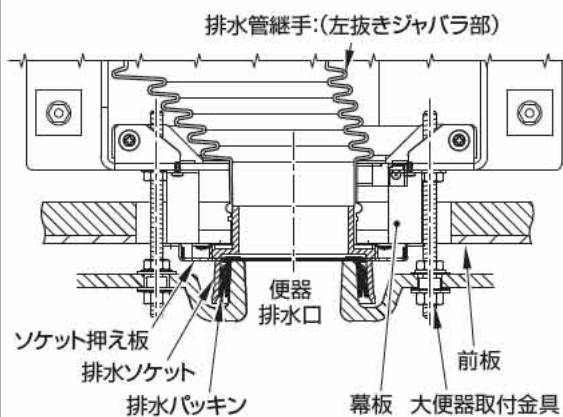
⑤ 取り付けの確認

便器取付ボルト部納まり

【便器上面より】



単独排水ソケット部納まり



サイドカバーは後工程で取り付けますので、大切に保管してください。

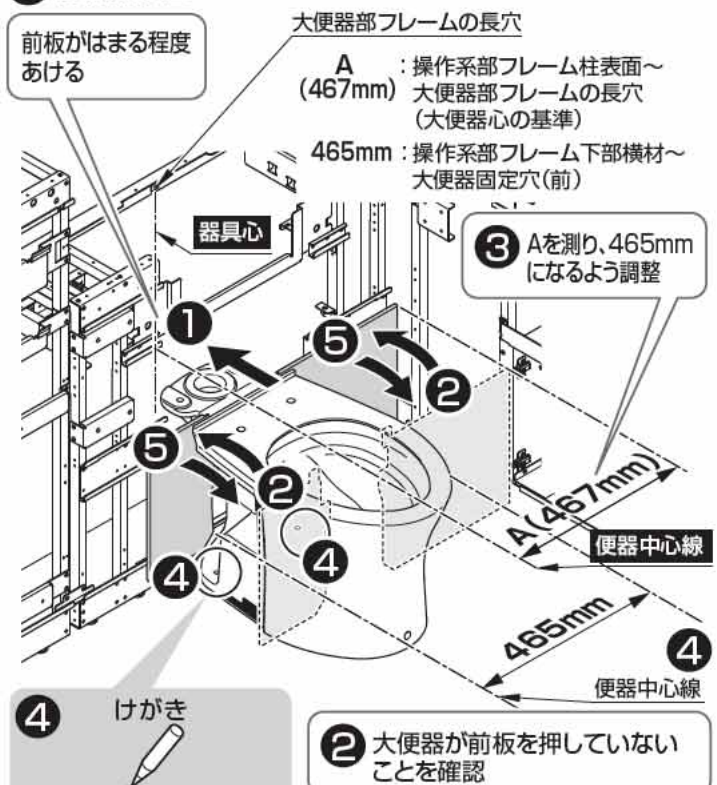
・サイドカバー ▶ P.101 STEP21

床置大便器

1 大便器の仮固定

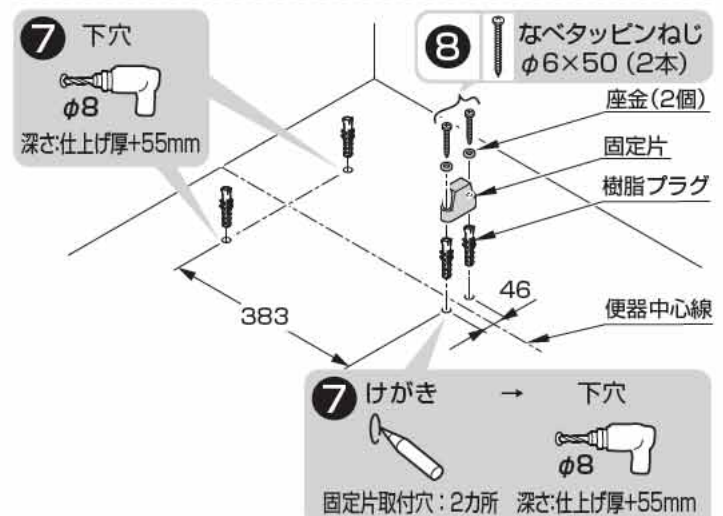
① 大便器仮置き

② 前板仮設置



⑤ 調整後、前板を取り外す

⑥ 便器を取り外す



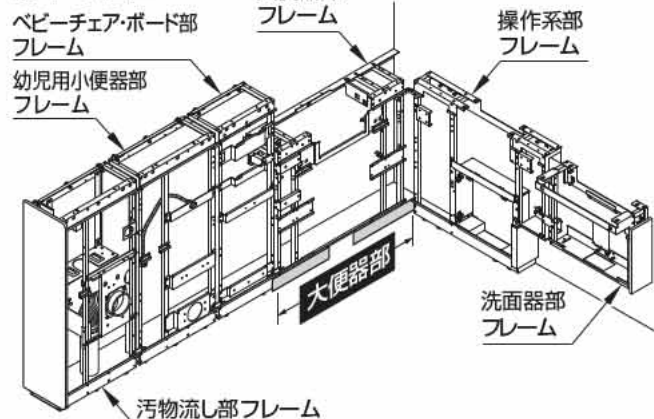
2 排水ジョイント・排水管の取り付け

▶排水ジョイント施工説明書参照

床置大便器

3 大便器の取り付け

幅木の位置



1 タイプにあわせて幅木を選定

大便器部横に器具が付く場合

幅木L=460mm(大便器部フレームに同梱)2枚を使用。

大便器部だけの場合

幅木L=460mm(大便器部フレームに同梱)とL型幅木(大便器部フレームに同梱)を使用。

ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部がある場合

2

2-1 表面の養生フィルムをはがす

【裏面】



大便器部だけの場合

2

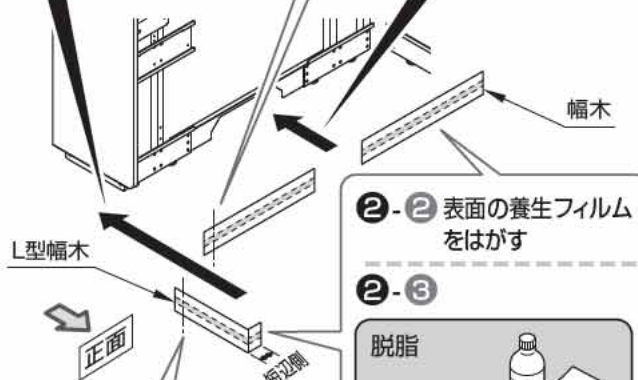
2-1 フレームからはみ出た分

カット

※カット面はバリ取りをしてください。

2-6 幅木取り付け
しっかり押さえつける

2-5 幅木取り付け
しっかり押さえつける



2-1 壁までの奥行きにあわせる

カット

※カット面はバリ取りをしてください。



注意

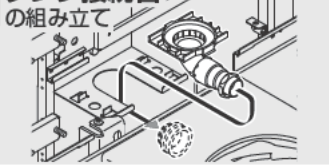
手締めにて行い、木ねじを締めすぎない
強く締めすぎると、便器が割れるおそれがあります。

サイドカバーは後工程で取り付けますので、大切に保管してください。
・サイドカバー ▶ P.101 STEP21

STEP7.大便器用セットタンク

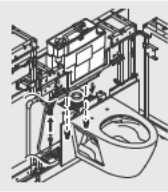
壁掛大便器

1 タンク接続管の組み立て



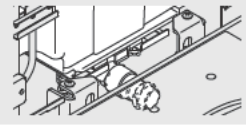
▶P.62

2 セットタンクの取り付け



▶P.62

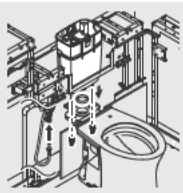
3 セットタンクの傾き調整・タンク接続管の固定



▶P.63

床置大便器

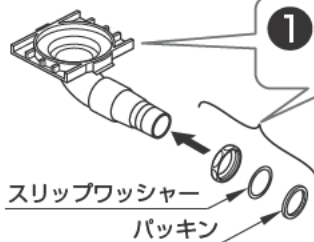
1 セットタンクの取り付け



▶P.63

壁掛大便器

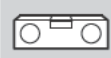
1 タンク接続管の組み立て



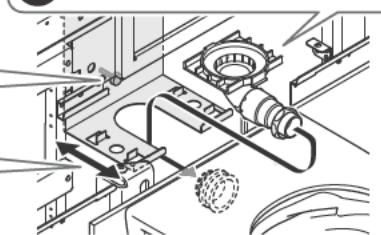
① 詰めあわせ箱に
同梱(P.28参照)

③ ローレットねじを
回して水平に調整

水平確認



② 大便器に差し込みながら入れる



2 セットタンクの取り付け

注意



パッキンがセットされている
ことを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす
財産損害発生の原因となります。

注意



汚物流しのセットタンクと見た目が同じなので、必ずラベル付の
大便器用セットタンクを使用する

固定ナットの取り付けかた

注意



固定ナットを締め付け
るときは必ず手で行う
工具を使用すると破損する
おそれがあります。

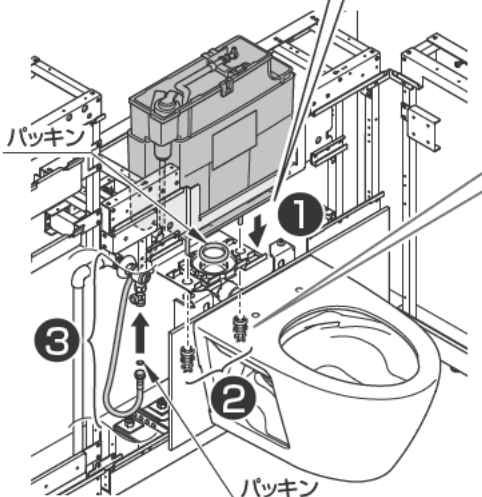
固定ナットを
手締めでかたく
締め付ける。
※再度、左右が確実に締まって
いることを確認してください。



注意



再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう
給水接続をする
故障や皮ふの炎症などをおこす原因となります。



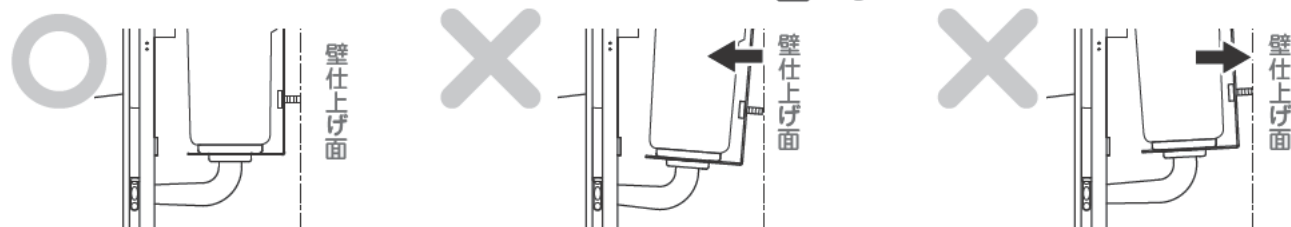
壁掛大便器

3 セットタンクの傾き調整・タンク接続管の固定

① タンク接続管が逆勾配でないことを確認

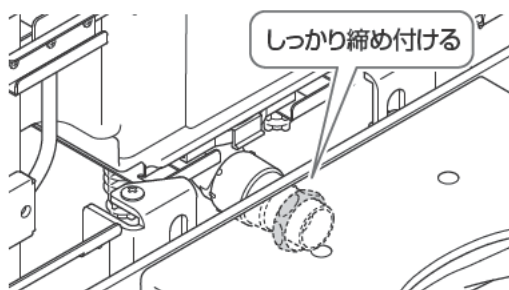
② セットタンクの水平確認

※セットタンクが水平でない場合、P.62「STEP7.大便器用セットタンク」①の③に戻り再度調整する



③ タンク接続管の固定

・工具を使用して袋ナットを締め付ける。



床置大便器

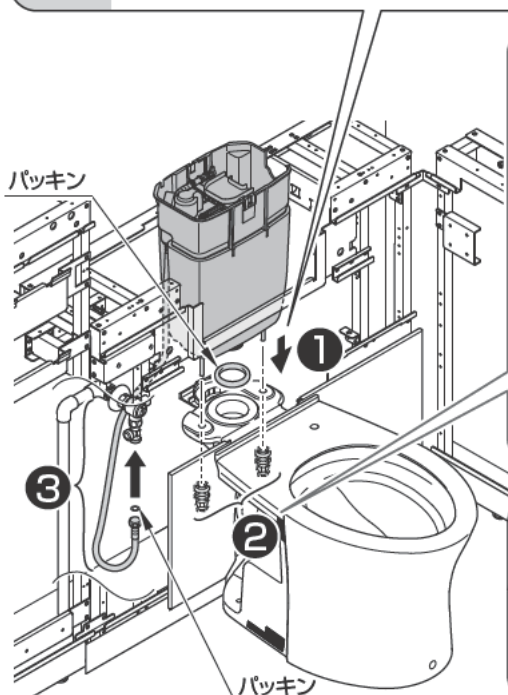
1 セットタンクの取り付け

⚠ 注意



パッキンがセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る



固定ナットの取り付けかた

⚠ 注意



工具使用禁止

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

固定ナットを手締めでかたく締め付ける。
※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



⚠ 注意



必ず守る

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう給水接続をする
故障や皮ふの炎症などをおこす原因となります。